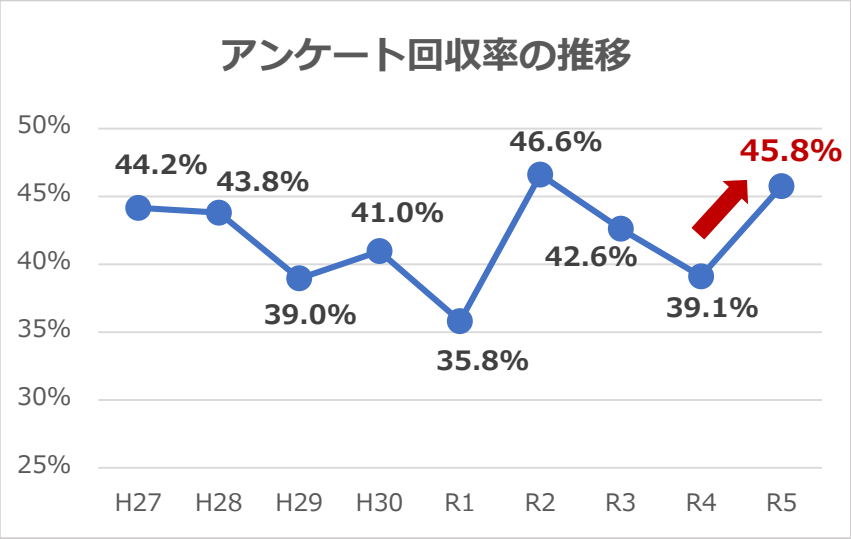
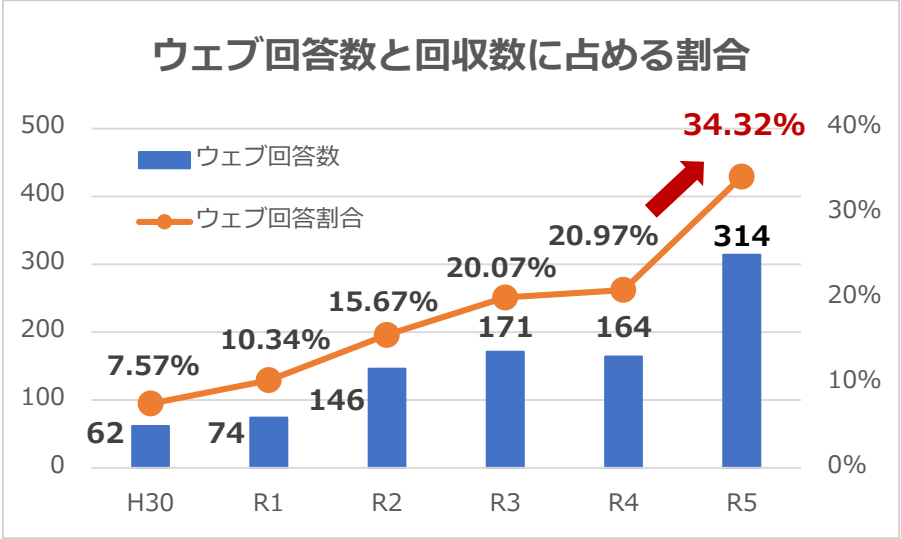
令和５年度 市民意識調査の結果について

資料１

調査概要および回収状況

- ■ 調査目的：　まちづくりや市政全般に関する市民の皆さんの意識（満足度等）を経年で調査・把握し、各施策分野の評価や課題抽出等に活用する
- ■ 調査期間：　令和5年10月20日（金）から11月7日（火）までの20日間
- ■ 調査対象：　市内在住の18歳以上 2,000人（無作為抽出）
- ■ 回収状況：　有効回収数 **915票**（うちウェブ回答 **314票**）
  回収率 **45.8%**





※平成29年度以前は紙媒体のみ

調査内容についての補足

令和５年度からスタートした第３次燕市総合計画の進捗管理にあたり、以下のとおり調査内容を見直しました。なお、見直しにあたっては調査の継続性を担保しつつ、回答者の負担軽減を最優先事項としています。

主な見直し内容

1. 質問内容や緊急性等を精査のうえ、**設問数を大幅に削減（102 → 52）**するとともに、質問内容が伝わりやすいよう、**より分かりやすい表現**に改めました。

   例：施策別満足度の設問

１ 地場産業の振興（ブランド力強化・企業立地促進等）
２ 雇用対策（人材確保、就業支援等）
３ 新産業育成・創業支援（新分野参入の支援等）
４ 商業の振興（商店街活性化、商店支援等）

→

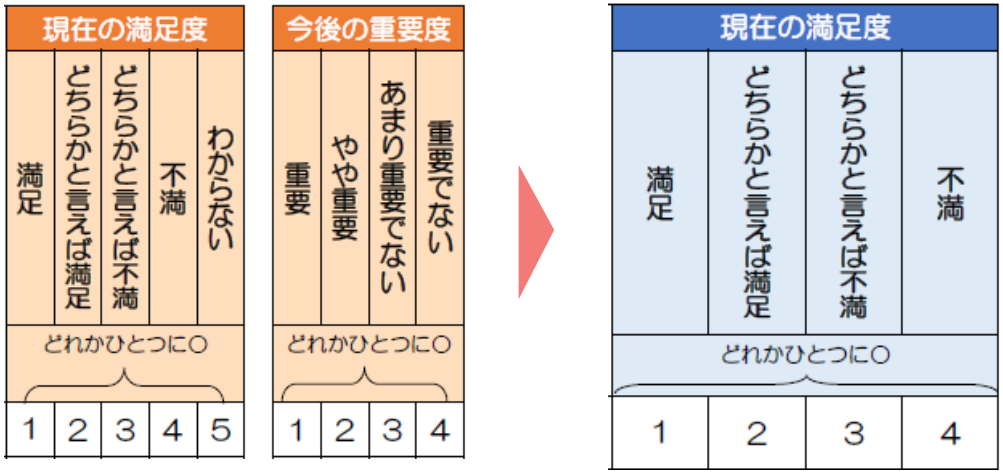
１ ものづくり産業の生産性向上や販路開拓などにより商工業に活力がある

2. 今後の政策展開につなげることを目的に、より細かなニーズ把握をするため、属性情報として**「家族構成」の設問等を新たに設定**しました。

（オ）あなたのお住まいの家族構成・人数は	１．ひとり暮らし　２．夫婦のみの世帯 ３．親・子の世帯　４．親・子・孫の世帯 ５．その他（　　） ご家族全員（ご自身含む）の人数（　　人）
「３．親・子の世帯」または「４．親・子・孫の世帯」を選んだ方で、18 歳未満のご家族がいる場合、あてはまる年代をすべて選んで○印をつけてください。	※18 歳未満のお子さんがいる場合 １．未就園児　２．保育園・こども園児 ３．小学生　４．中学生 ５．高校生 18 歳未満のお子さんの人数（　　人）

主な見直し内容

3.これまでは各施策の「満足度」「重要度」についてそれぞれ調査項目としていましたが、**重要度についての設問をなくすとともに、「満足度」から「わからない」を選択肢から削除し、4段階の評価へと変更**しました。



この変更により、総合計画の施策別指標項目での評価に一部影響があります。

例：

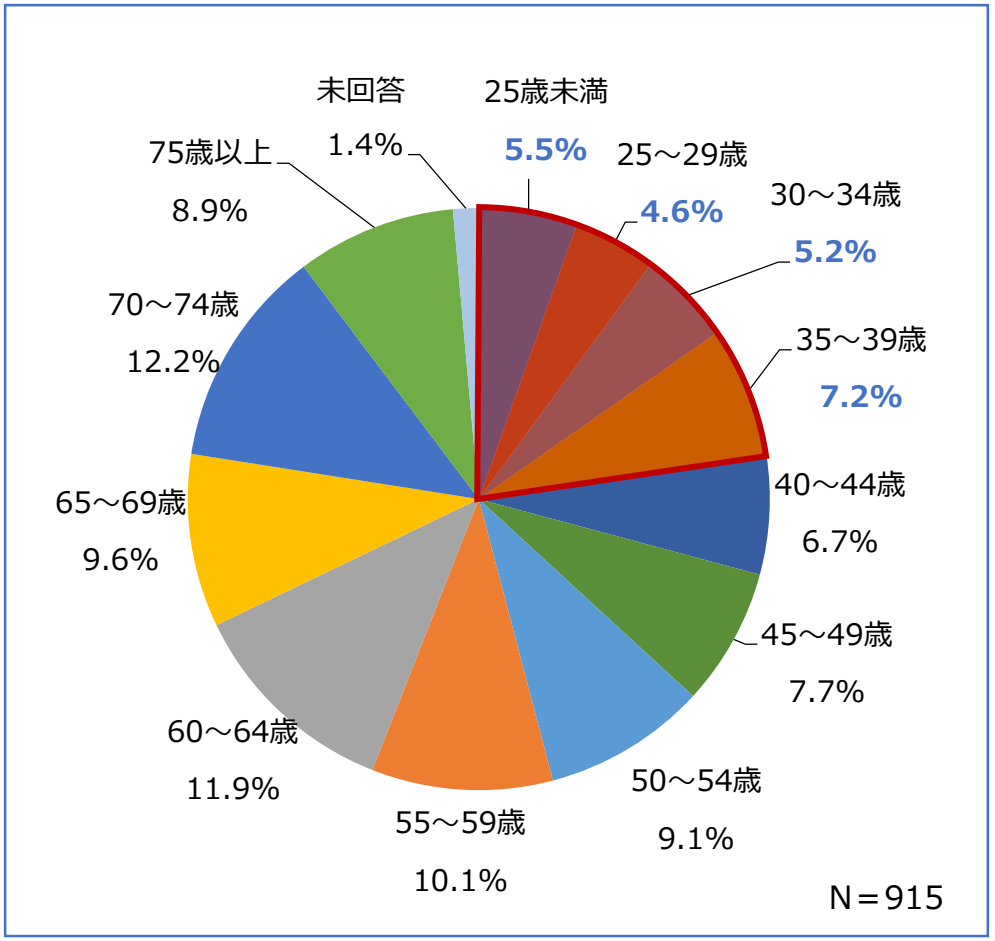
戦略１	基本方針３　健やかに暮らせる医療福祉の充実	施策２　障がい福祉の充実

指標項目	基準値（年度）	R５年度実績	中間目標値（R８年度）	評価	最終目標値（R12年度）
障がいのある人への支援に対して不満と答えた人の割合	19.8%（R4年度）	39.6%（R5年度）	17.0%	▼	16.0%

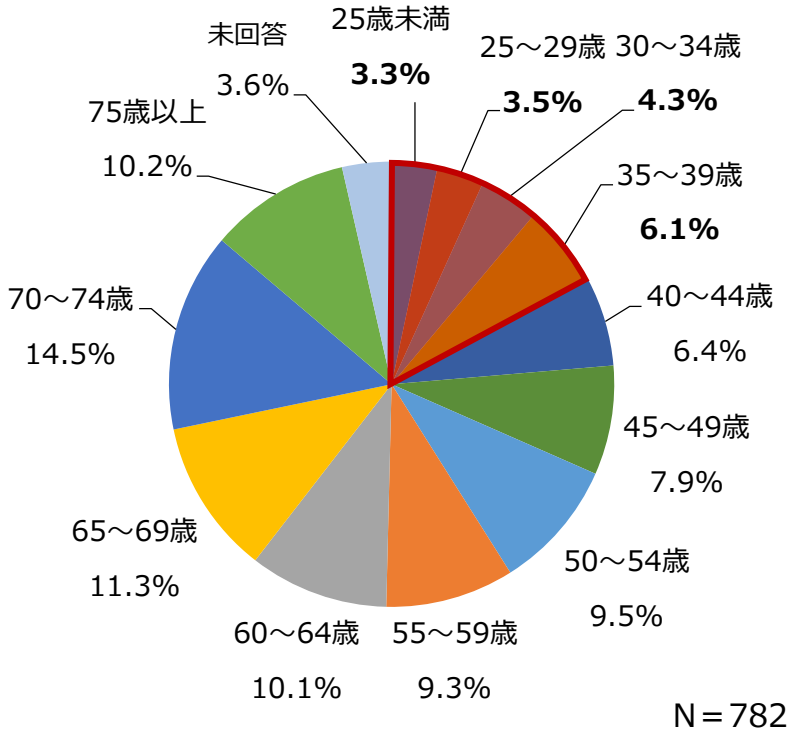
上記の指標に関して、仮に令和4年度の調査結果から「わからない」を除外した場合、基準値の不満割合は41.4%であり、令和5年度は評価が改善していることになります。

回答者の年齢構成

- 回答者の年齢構成では、**30歳代までの若年層の回答割合が増加**しており、**合計で22.5%、令和4年度比で＋5.3%上昇**しました。
- 特に、**25歳未満は令和4年度比で＋2.1%**と全階層の中で最も上昇しており、そのほかの年代についても、それぞれ1.0%程度ずつ上昇しました。

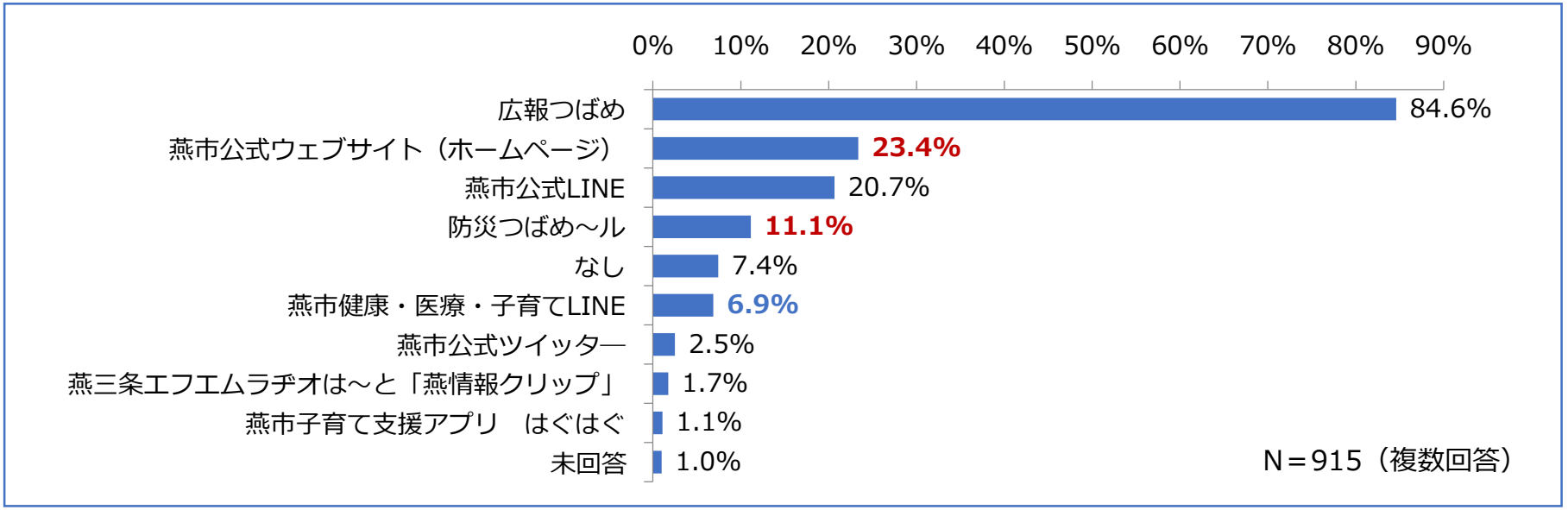


令和4年度の調査結果

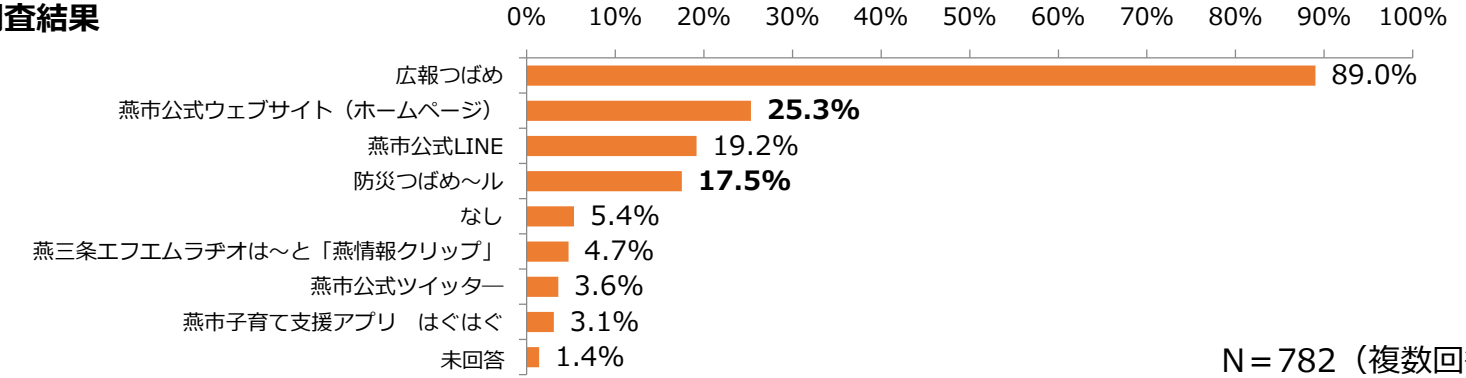


市政情報の取得媒体

- 若年層の回答割合が増えた影響からか、**「広報つばめ」（▲4.4%）と「防災つばめ～ル」（▲6.4%）からの取得割合が減少**し、**「なし」の割合が+2.0%上昇**しました。
- 令和5年8月に導入した**「燕市健康・医療・子育てLINE」からの取得割合は6.9%**となっています。



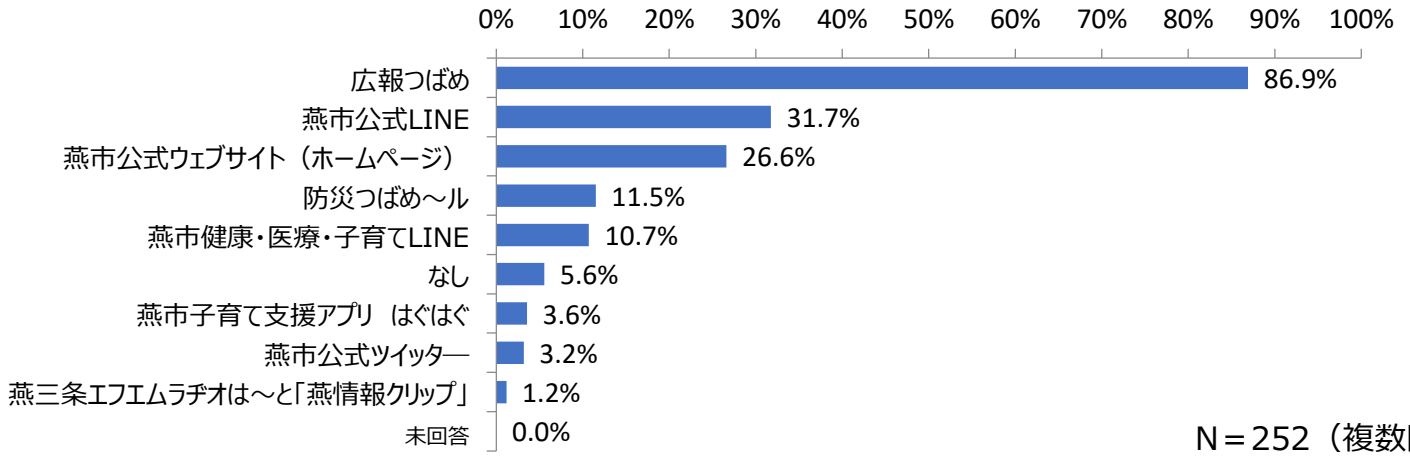
令和4年度の調査結果



市政情報の取得媒体（クロス集計）

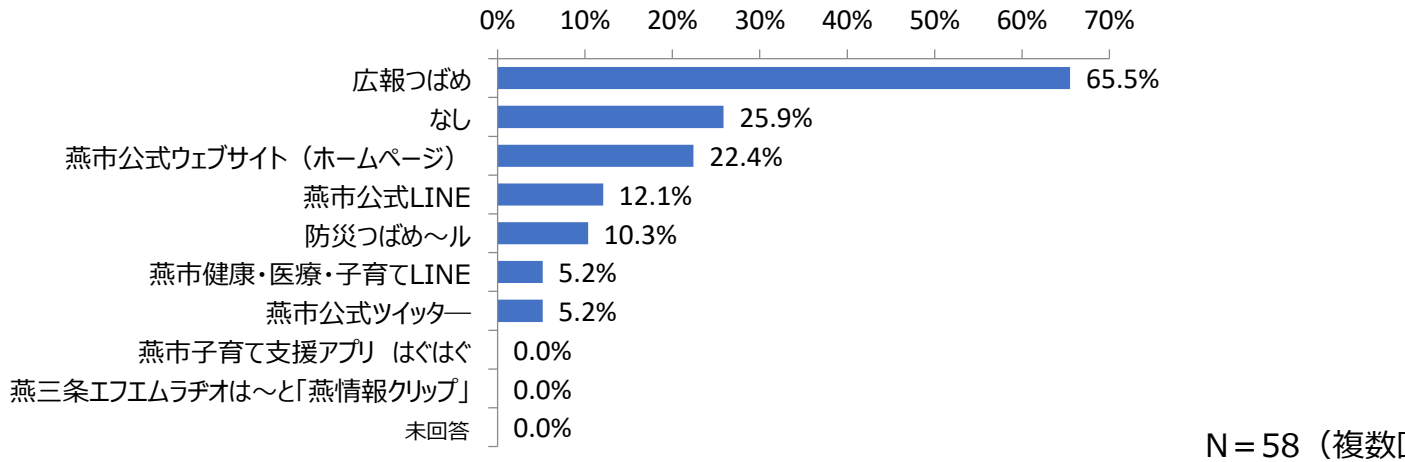
- 18歳未満の子どもがいる世帯では、公式LINEや、健康・医療・子育てLINEの利用割合が高くなっています。

【クロス集計】18歳未満の子どもがいる世帯



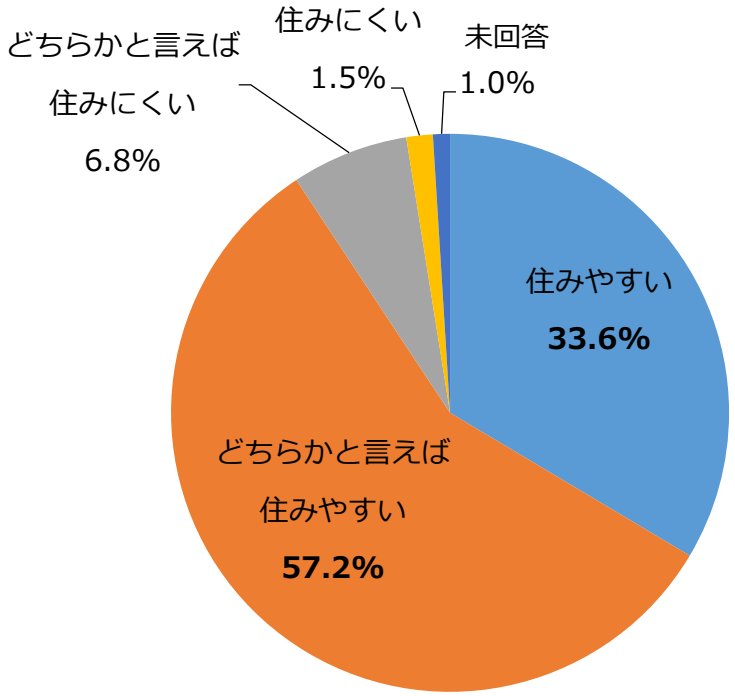
- 40歳未満の未婚者（世帯）は、市政情報の取得率が低くなっています。

【クロス集計】40歳未満の未婚者（世帯）

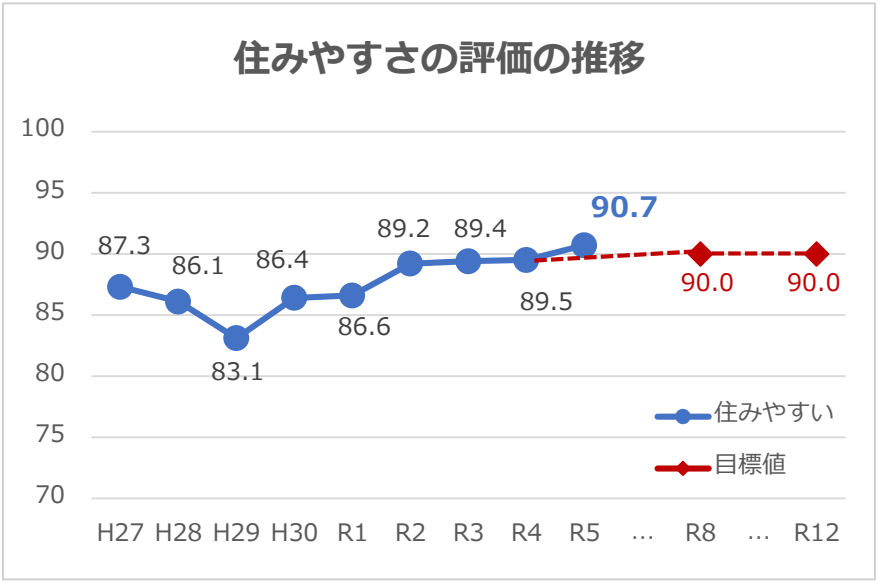


住みやすさの評価

- 燕市が「住みやすい」または「どちらかと言えば住みやすい」と回答した人の割合は、合計で**90.7%**（端数調整あり）、令和4年度調査から**＋1.2%上昇**し、第２次総合計画の計画期間を含め、**過去最高の数値**となりました。
- また、本指標は第３次総合計画の成果指標の１つであり、**中間および最終目標値の90.0%を超える結果**となっています。



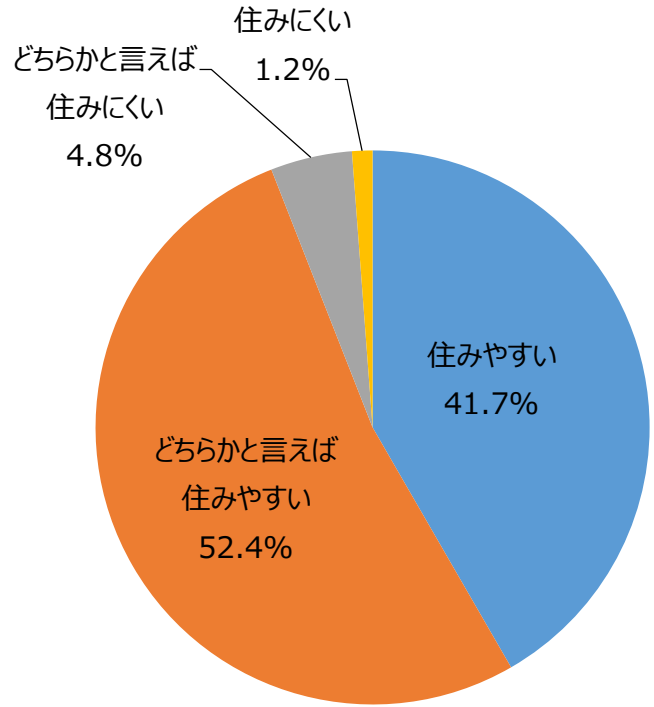
N＝915



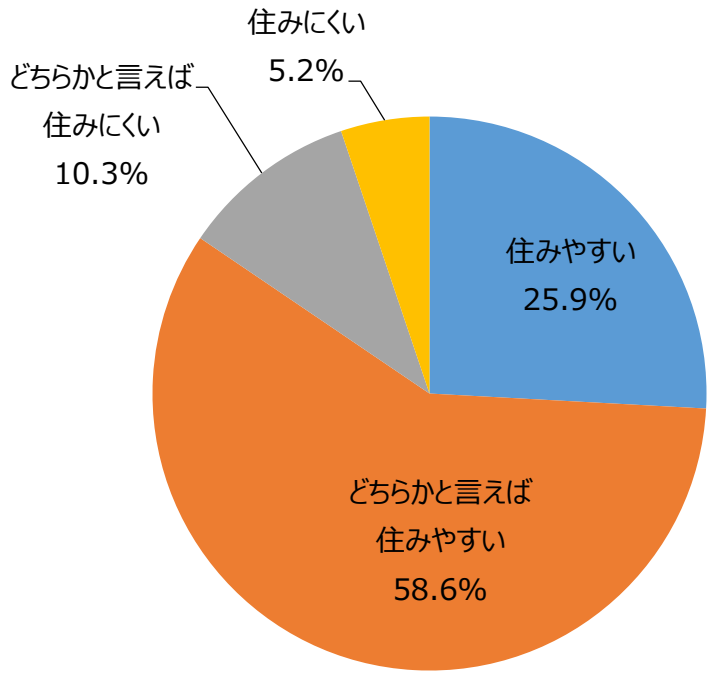
住みやすさの評価（クロス集計）

- 18歳未満の子どもがいる世帯では、「住みやすい」または「どちらかと言えば住みやすい」と回答した割合が**94.1%**（端数調整あり）と、全体よりも高い評価となっています。
- 一方で、 40歳未満の未婚者（世帯）は、同割合が**84.5%**（端数調整あり）と、全体よりも低い評価となっています。

【クロス集計】18歳未満の子どもがいる世帯

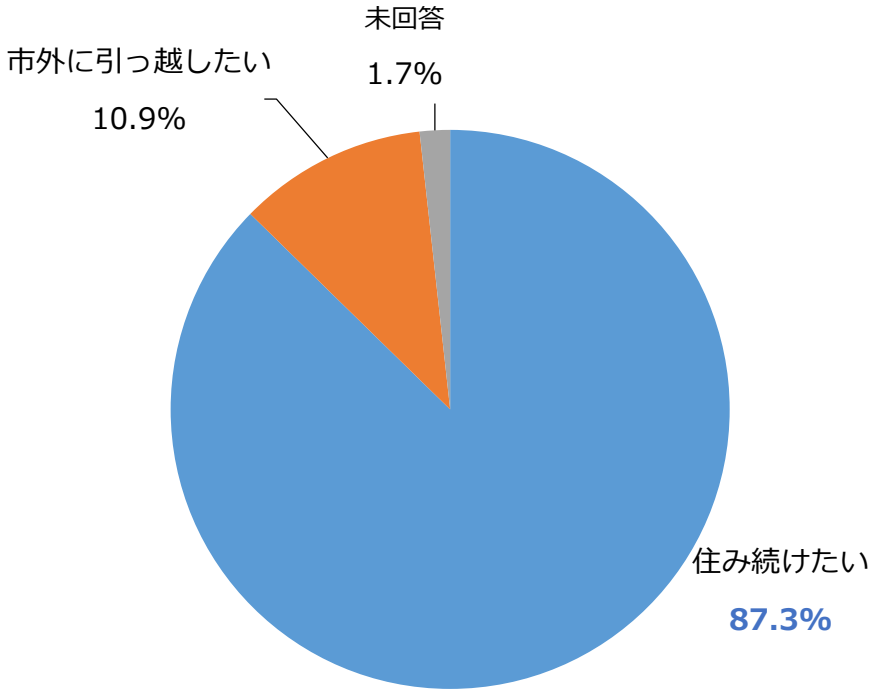


【クロス集計】40歳未満の未婚者（世帯）

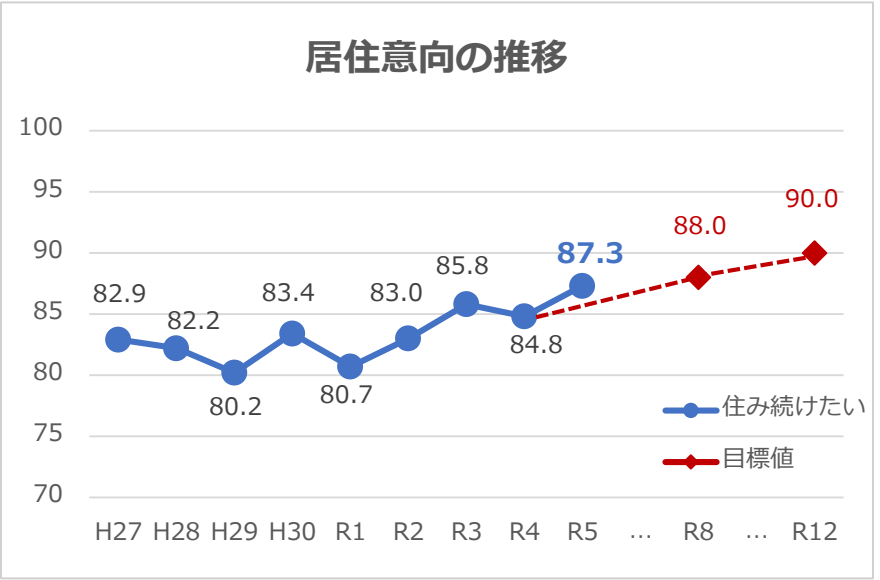


居住意向

- 燕市に「住み続けたい」と回答した人の割合は**87.3%**で、令和4年度調査から**＋2.5%上昇**し、「住みやすさの評価」と同様に、第２次総合計画の計画期間を含めて**過去最高の数値**となりました。
- 本指標も第３次総合計画の成果指標の１つであり、中間目標値の88.0%には届きませんでしたが、順調に進捗しています。

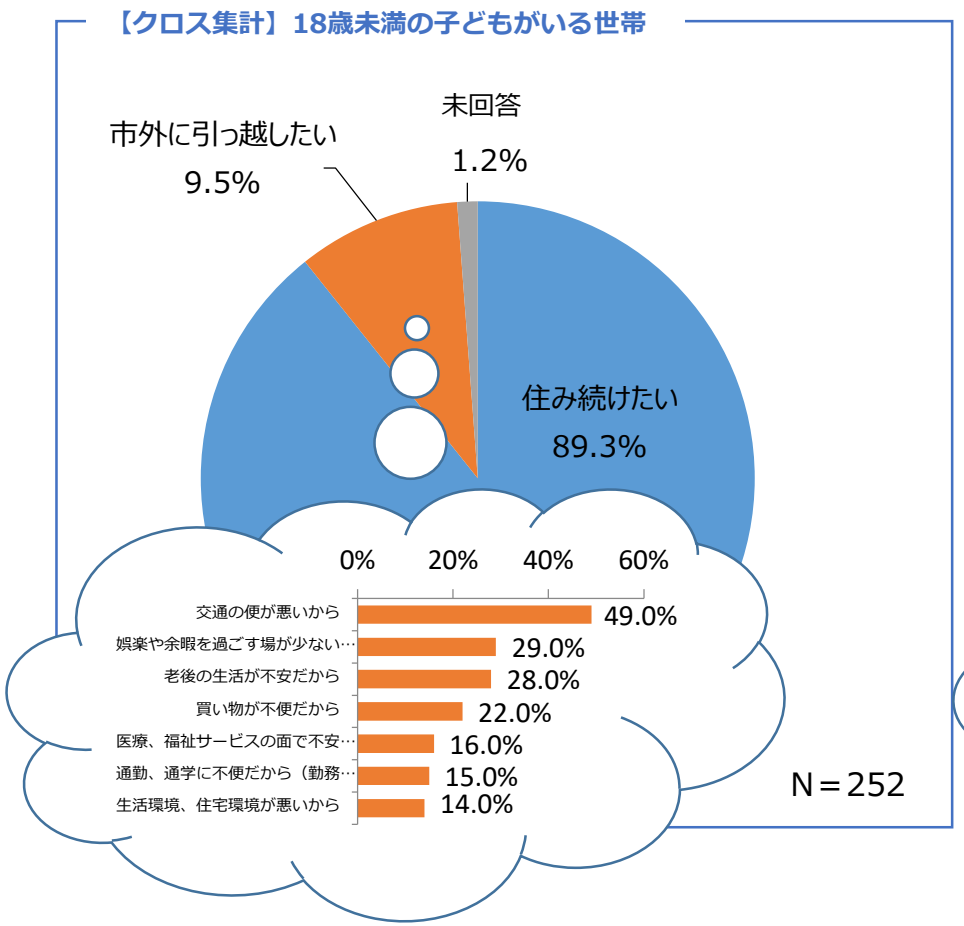


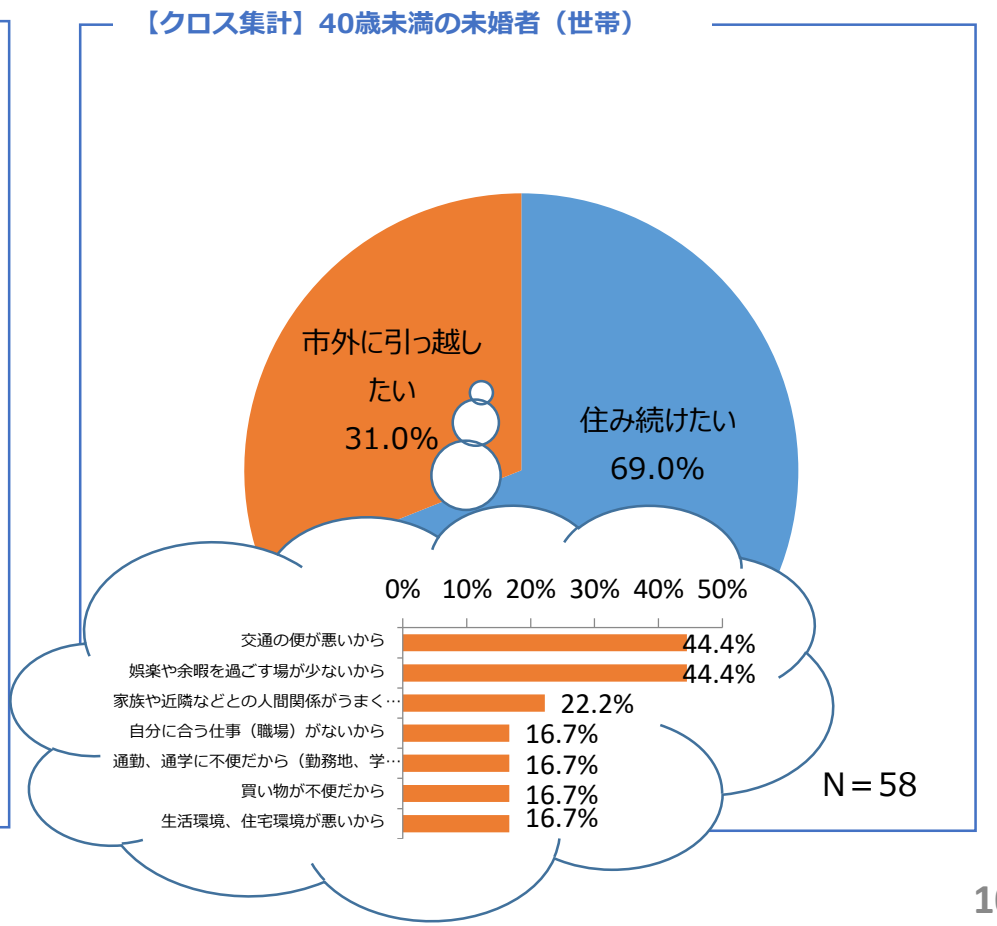
N＝915



居住意向（クロス集計）

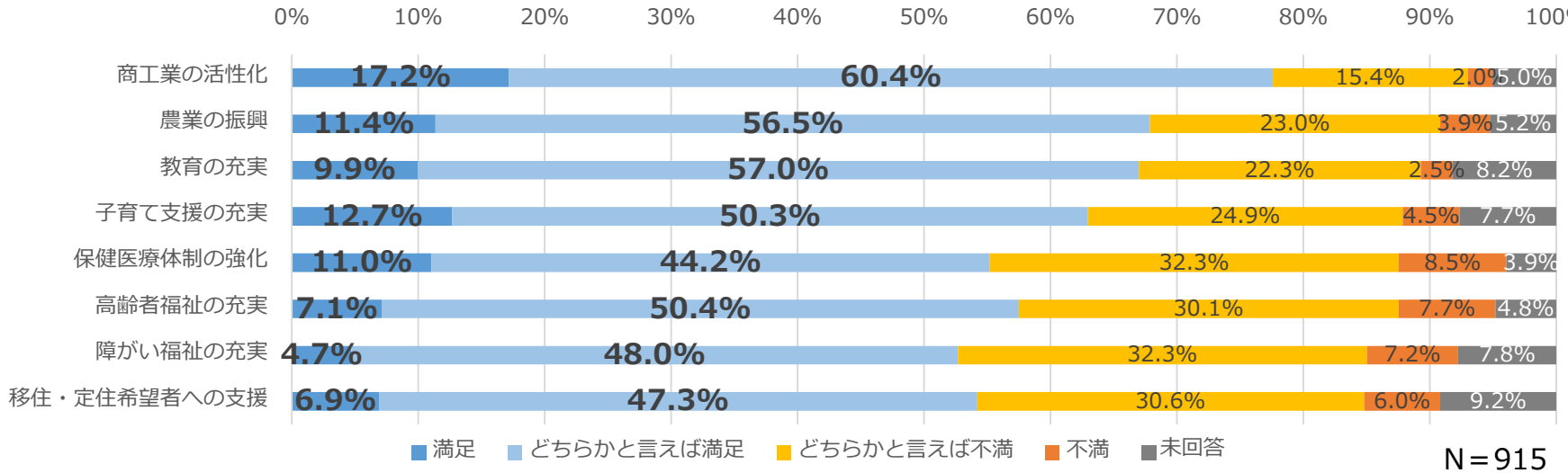
- 18歳未満の子どもがいる世帯では、燕市に「住み続けたい」と回答した人の割合は**89.3%**で、全体よりも高い評価となっています。
- 一方で、 40歳未満の未婚者（世帯）は、同割合が**69.0%**と、全体よりも低い評価となっています。





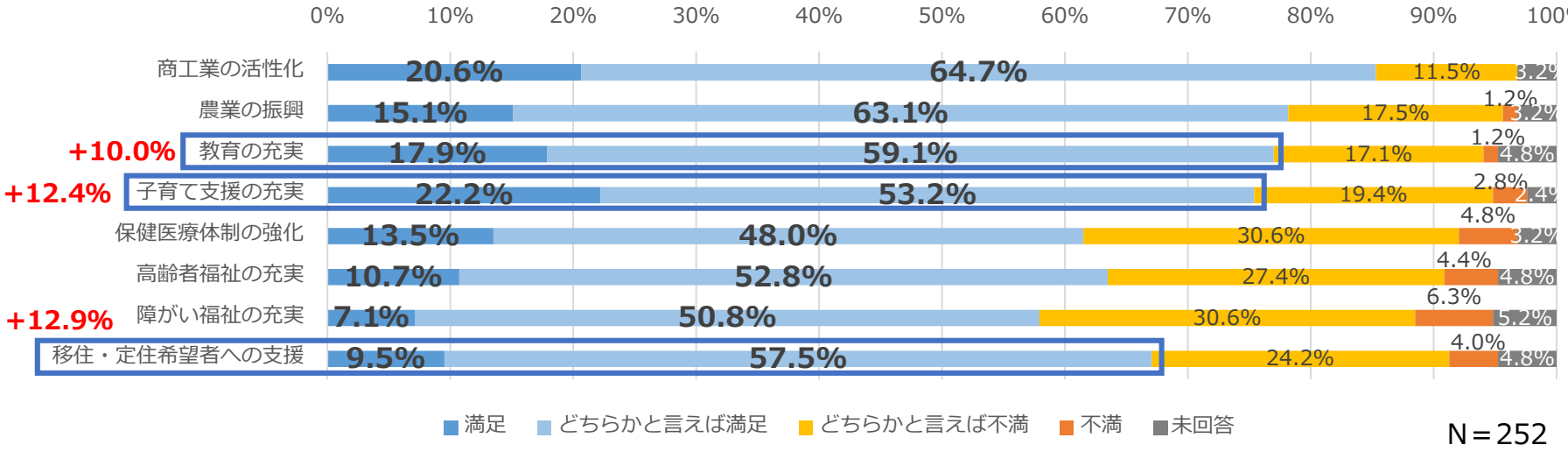
施策の満足度（定住人口戦略）

定住人口戦略



N＝915

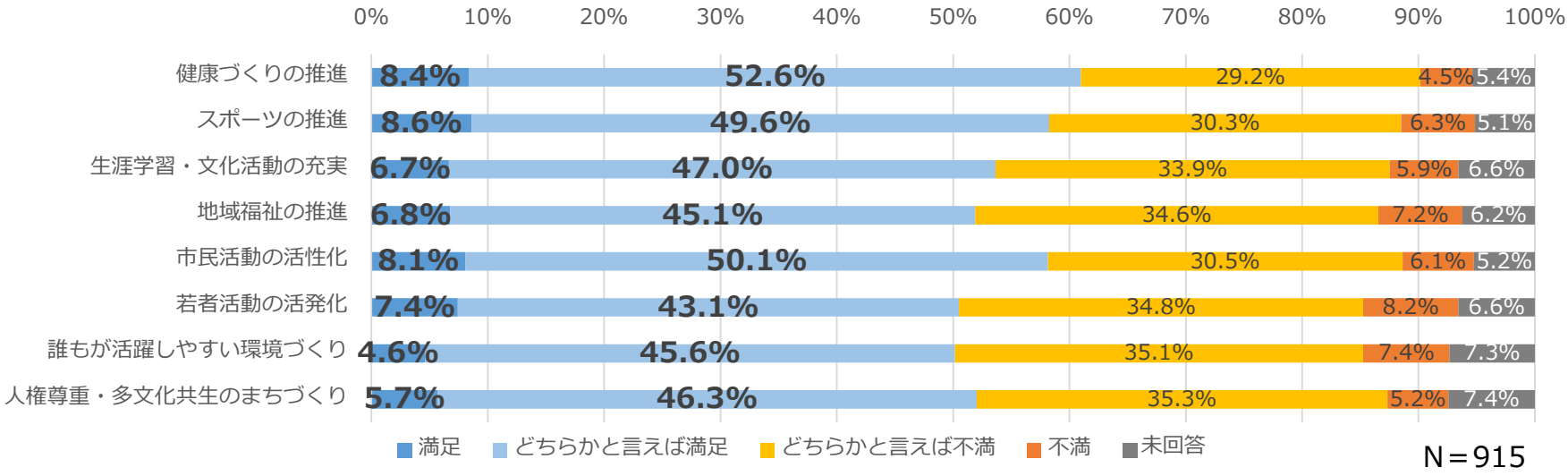
【クロス集計】18歳未満の子どもがいる世帯



N＝252

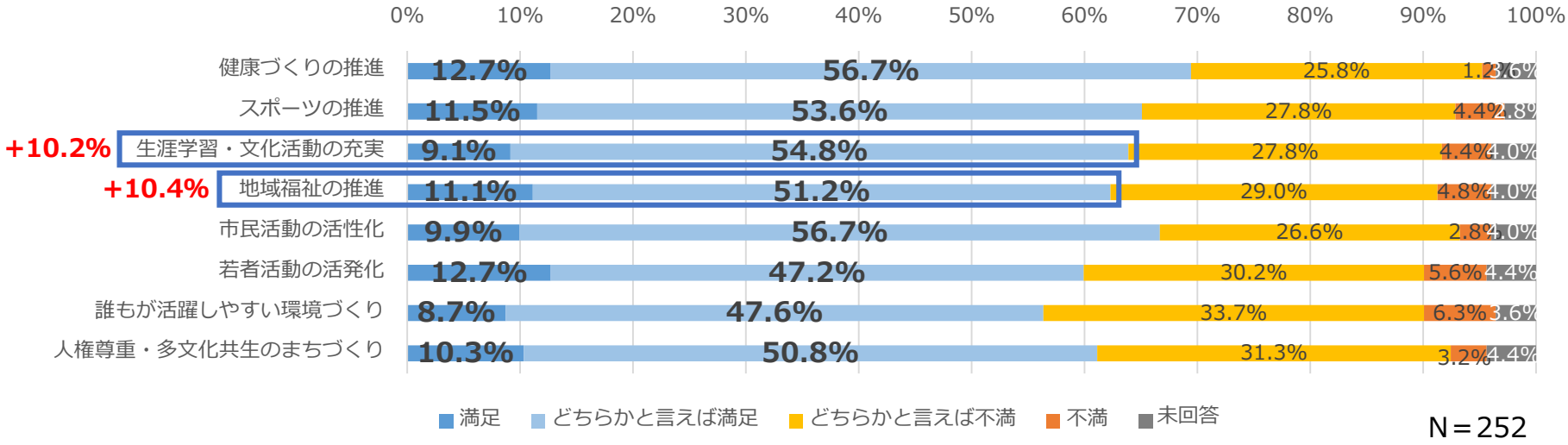
施策の満足度（活動人口戦略）

活動人口戦略



N＝915

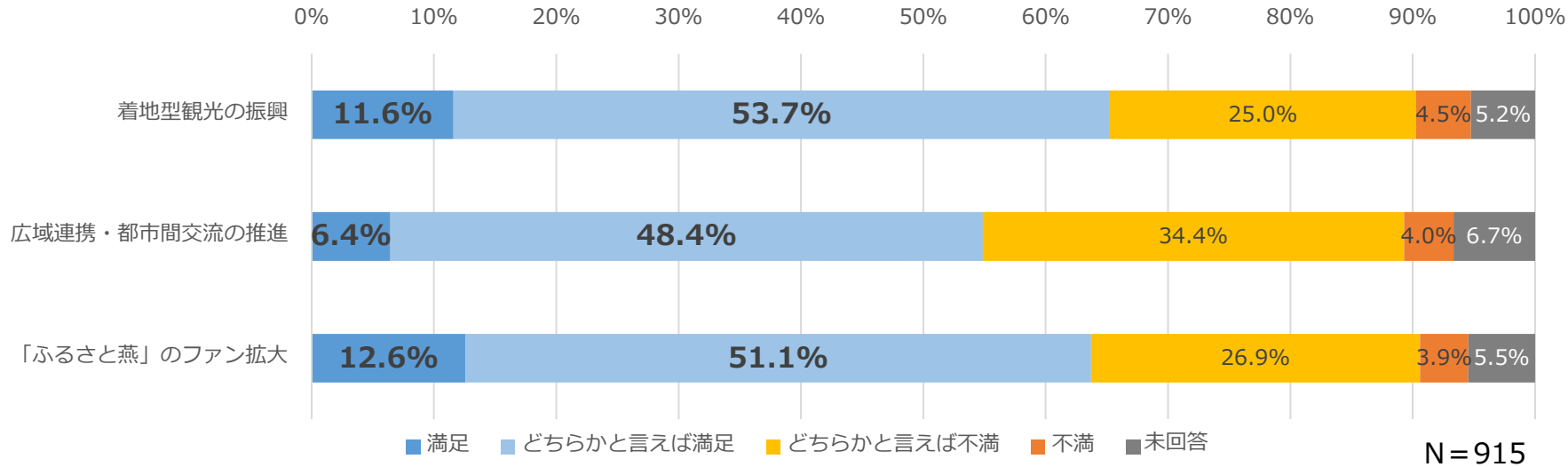
18歳未満の子どもがいる世帯



N＝252

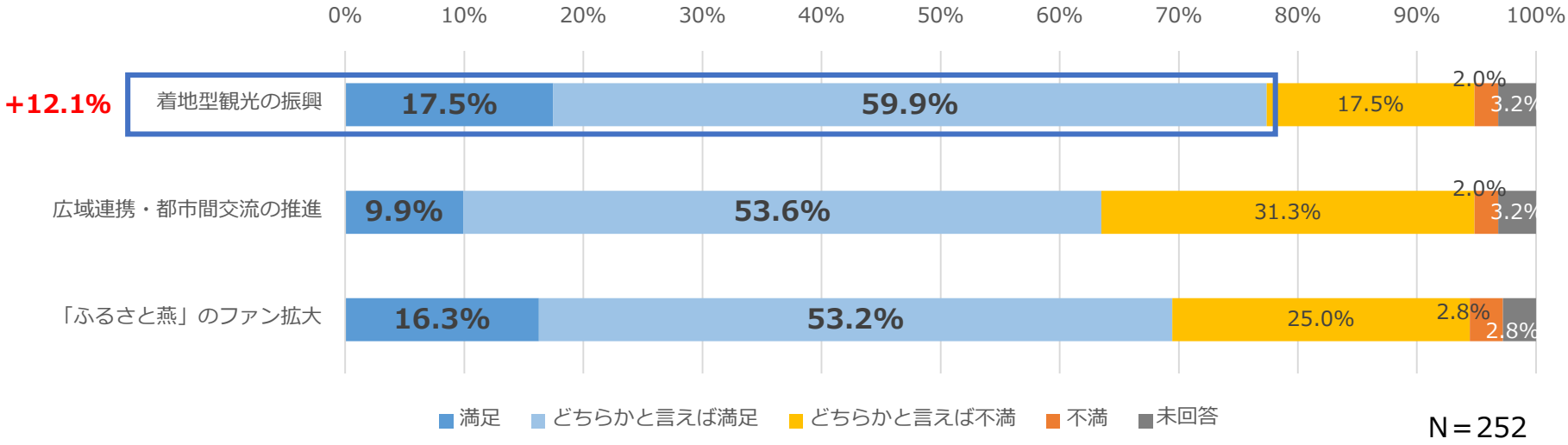
施策の満足度（交流・応援（燕）人口戦略）

交流・応援（燕）人口戦略



N＝915

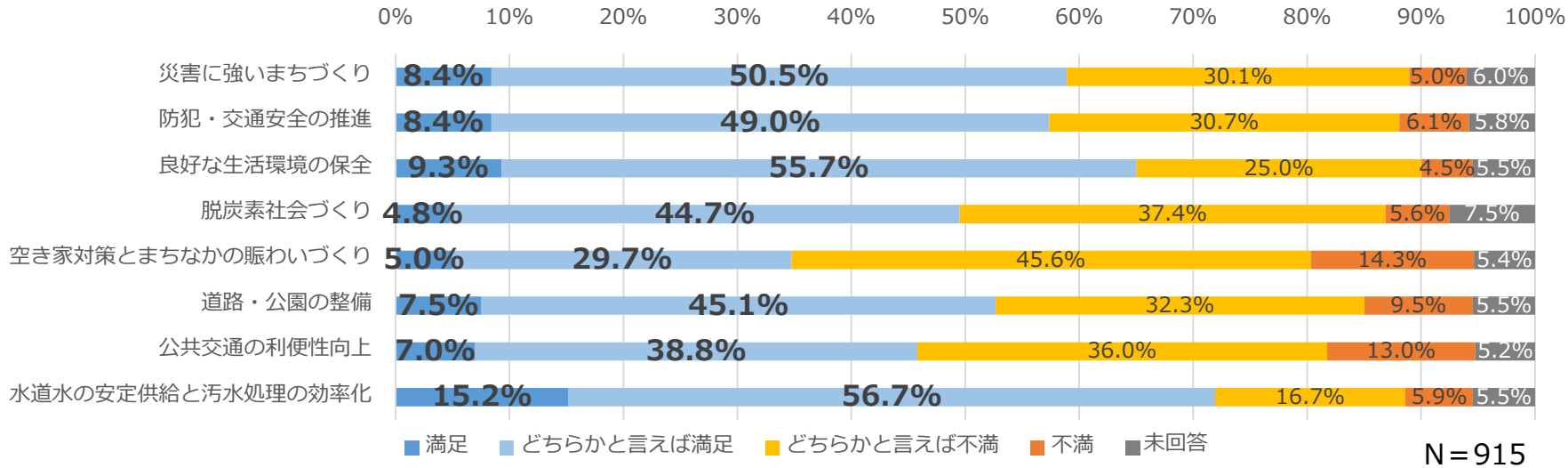
18歳未満の子どもがいる世帯



N＝252

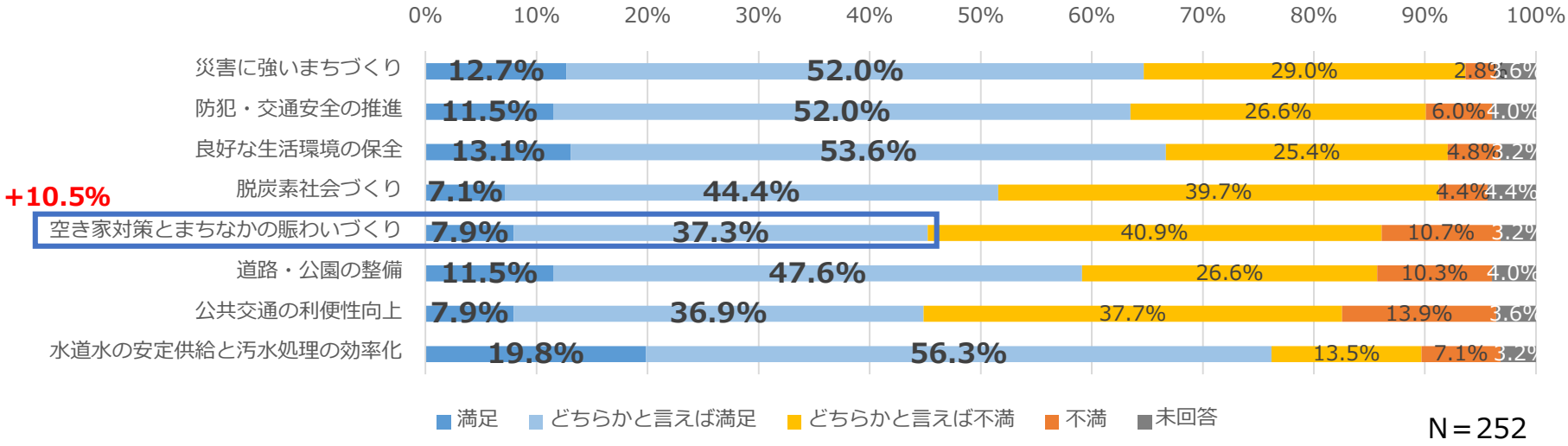
施策の満足度（人口戦略を支える都市基盤の整備）

人口戦略を支える都市基盤の整備



N＝915

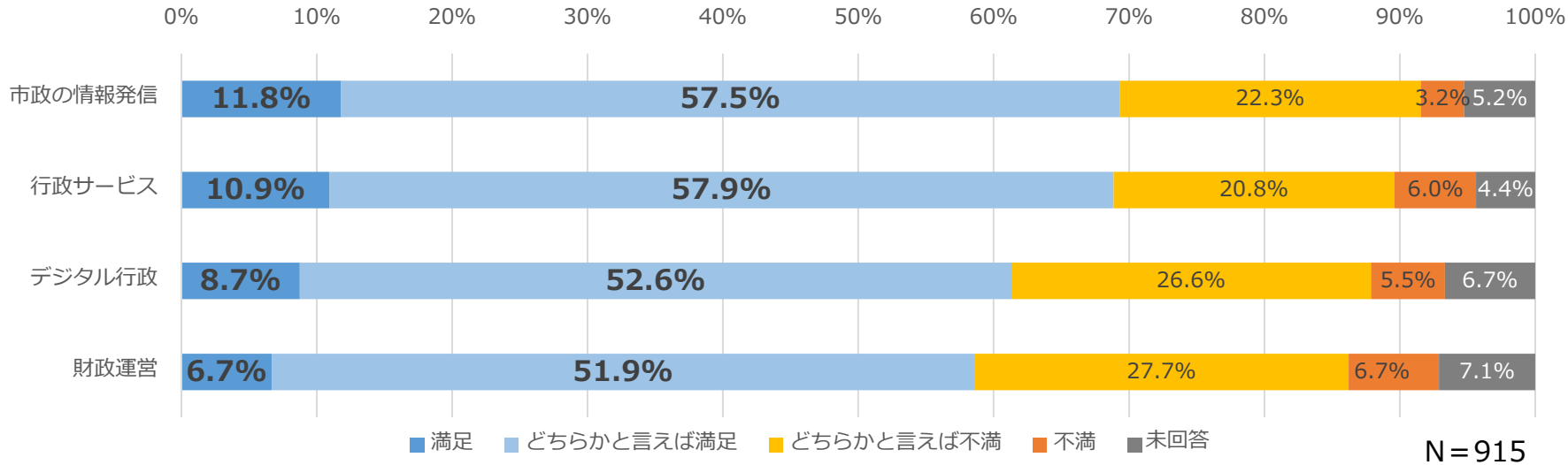
18歳未満の子どもがいる世帯



N＝252

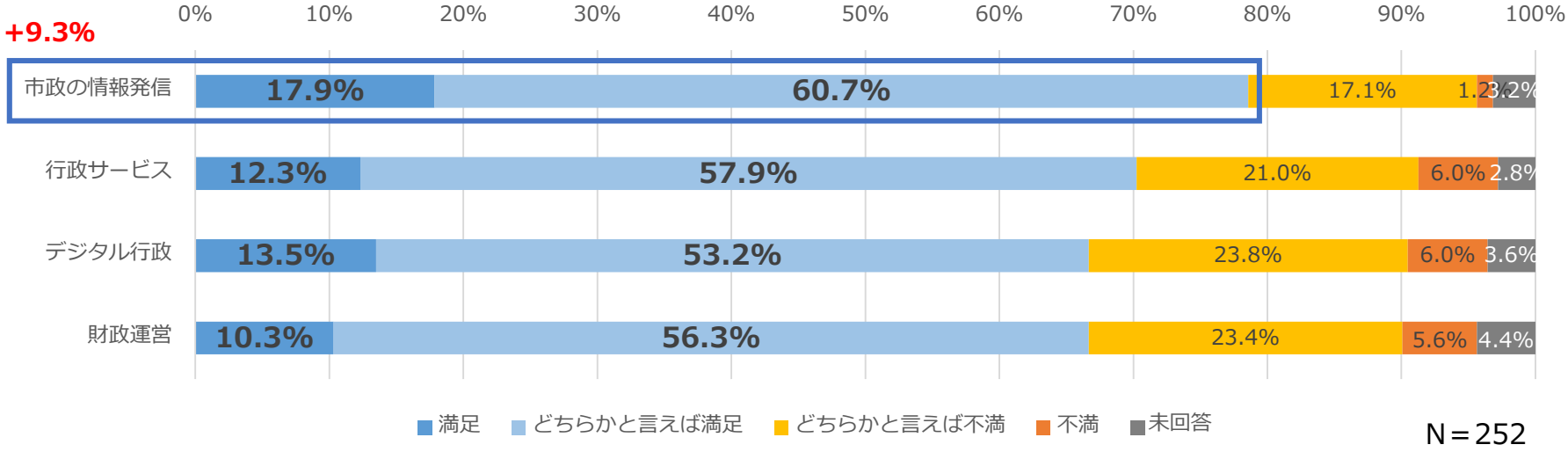
施策の満足度（持続可能な行財政運営）

持続可能な行財政運営



N＝915

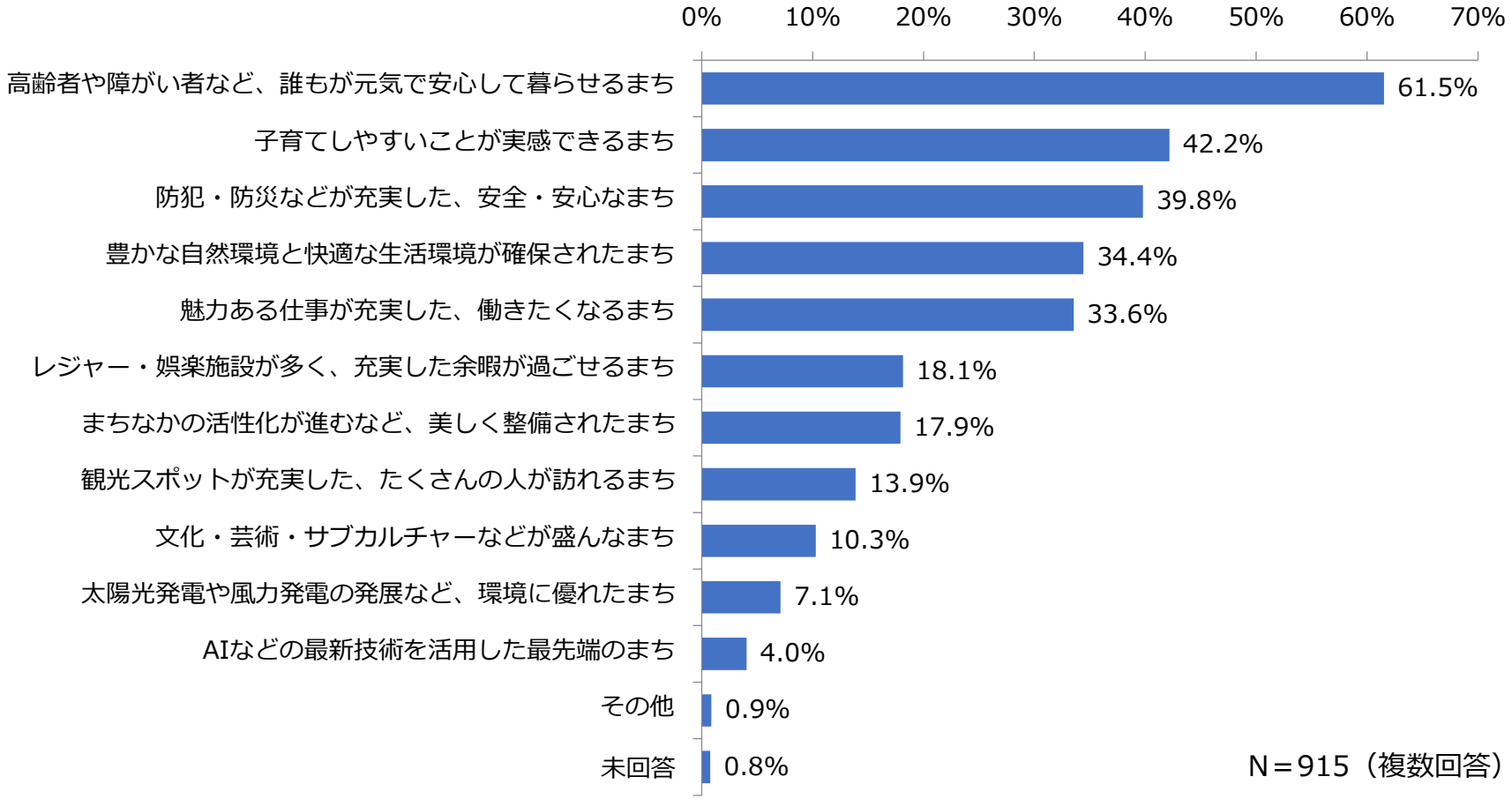
18歳未満の子どもがいる世帯



N＝252

５年後、10年後の将来を想像した時、燕市にどんなまちになっていてほしいか

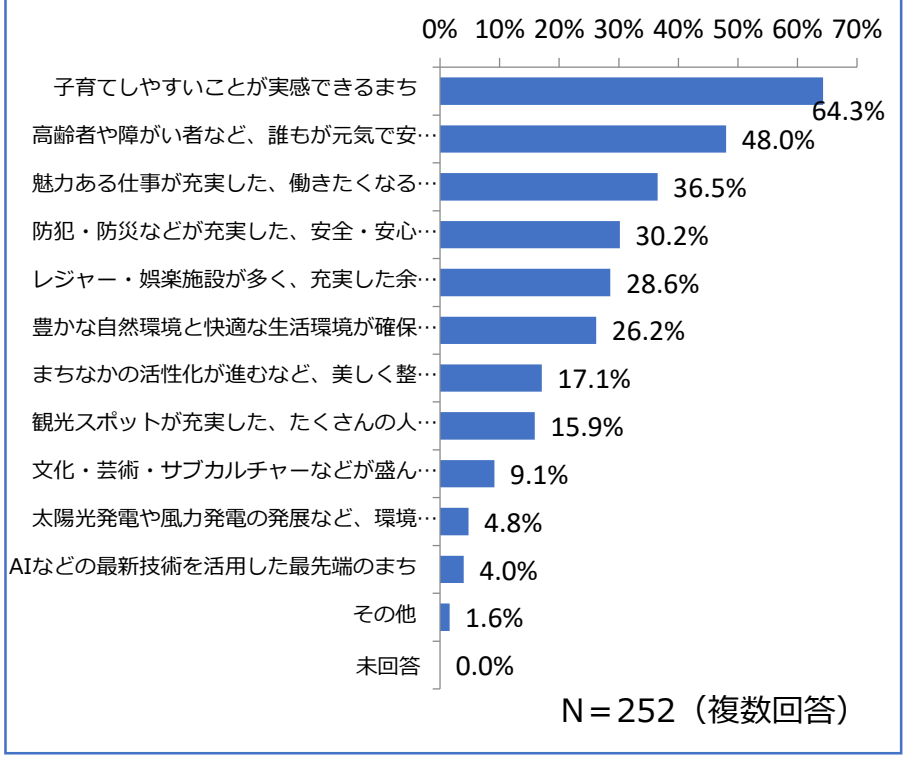
- 施策の重要度の代替として、「将来、燕市にどんなまちになっていてほしいか（３つまで複数選択）」の設問を今回追加しました。
- 調査の結果、「高齢者や障がい者など、誰もが元気で安心して暮らせるまち」が **61.5%**と最も多く、次いで「子育てしやすいことが実感できるまち」が**42.2%**、「防犯・防災などが充実した、安全・安心なまち」が**39.8%**となりました。



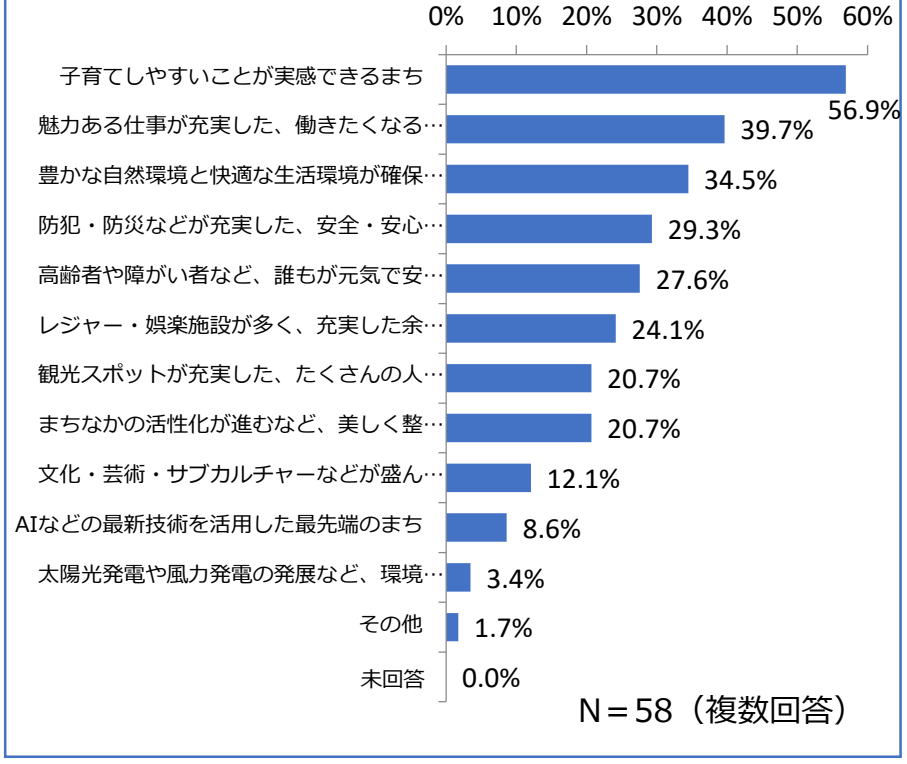
５年後、10年後の将来を想像した時、燕市にどんなまちになっていてほしいか（クロス集計）

- 18歳未満の子どもがいる世帯では、「子育てしやすいことが実感できるまち」が**64.3%**と最も多くなりました。
- 40歳未満の未婚者（世帯）も同様に「子育てしやすいことが実感できるまち」が最も多くなりましたが、「魅力ある仕事」や「自然環境・生活環境」についても重視していることが分かりました。

【クロス集計】18歳未満の子どもがいる世帯



【クロス集計】40歳未満の未婚者（世帯）



令和５年度

これからのまちづくりのための
市民意識調査報告書

令和５年 12 月

燕市企画財政部企画財政課

目　　次

頁
１．調査の概要 …… 3
（１）目的 …… 3
（２）調査方法 …… 3
（３）回収結果 …… 3
（４）報告書の見方 …… 3

２．集計結果 …… 4
問１　（ア）性別 …… 4
（イ）年齢 …… 4
（ウ）お住まいの地区（小学校区） …… 5
（エ）居住形態 …… 5
（オ）家族構成 …… 6
（カ）職業 …… 7
通勤・通学先 …… 7
（キ）燕市居住年数 …… 8
問２　社会の変化への対応 …… 9
問３　自治会や各種団体への参加 …… 11
参加したことがない理由 …… 11
問４　利用している情報媒体 …… 12
問５　インターネットの利用状況 …… 12
問６　住みやすさ …… 13
問７　居住意向 …… 13
市外に引っ越したい理由 …… 14
問８　まちづくりに対する満足度 …… 15
問９　将来の燕市に期待すること …… 16
問 10　行政サービスと費用負担のあり方 …… 16

３．調査票 …… 17

１．調査の概要

（１）目的

本調査は、「第３次燕市総合計画」の進行管理に当たり、市民が日頃まちづくりや身近な生活環境についてどのように考えているのかを把握するとともに、各施策の満足度等を明らかにすることにより、施策の優先順位の検討等に資することを目的とする。

（２）調査方法

本調査の方法は、下記のとおりである。

項　目	内　容
調査地域	燕市全域
調査対象者	燕市内在住の満 18 歳以上の男女個人 （令和５年 10 月現在）
標本数	2,000 人
抽出方法	住民基本台帳からの無作為抽出
配付・回収方法	郵送配付、郵送回収またはウェブ回答
配付・回収期間	令和５年 10 月 20 日（金）～令和５年 11 月７日（火）

（３）回収結果

有効回収数：915 票（有効回収率 45.8%）

（４）報告書の見方

①回答割合は、小数点第２ 位を四捨五入しているため、数値の合計が 100%にならない場合がある。

②複数回答の設問の場合、全ての回答割合を合計すると 100%を超える場合がある。

③基数となるべき実数（N）は、特に記述のない限り、有効回収数である。

④本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合がある。

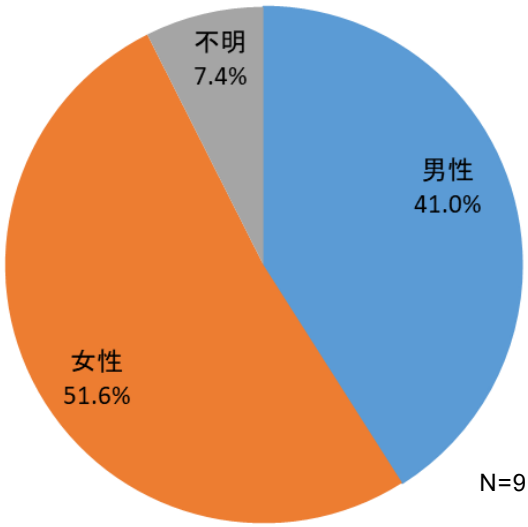
⑤前回の市民意識調査と設問、選択肢が変更になっているものがある。

２．集計結果

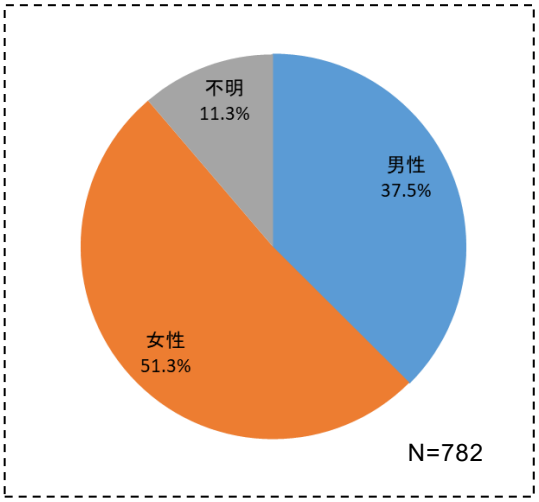
問１　あなたご自身についておたずねします。

（ア）あなたがとらえているあなたの性別は

「男性」が 41.0%、「女性」が 51.6%であり、前回調査と比較して、「男性」は 3.5 ポイント増加し、「女性」は 0.3 ポイント、不明（未回答）が 3.9 ポイント減少した。

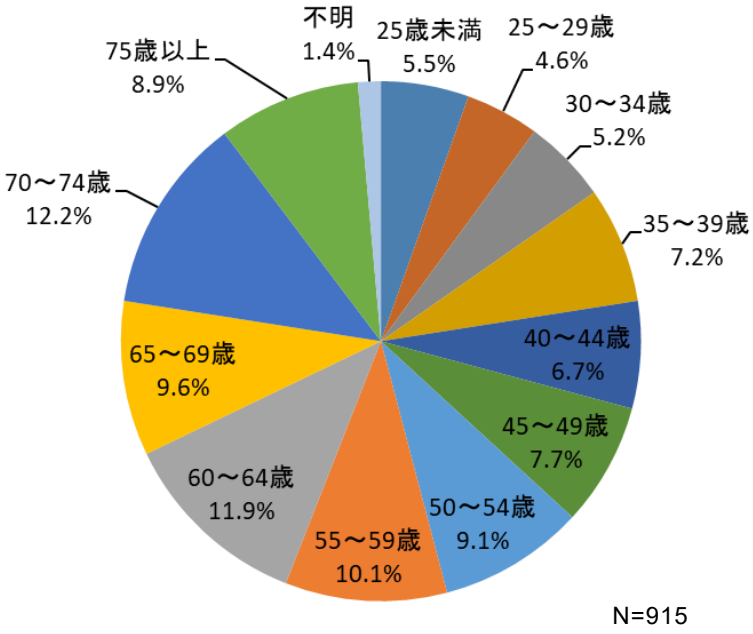


【前回の市民意識調査（令和４年 10 月）】

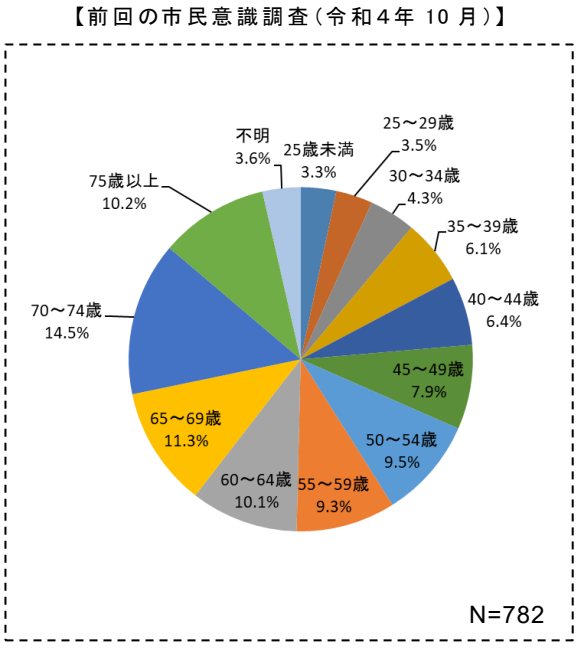


（イ）あなたの年齢は

年齢別の割合は、「70～74 歳」が最も多く 12.2%、次いで「60～64 歳」が 11.9%、「55～59 歳」が 10.1%となっている。前回調査との比較では、「25 歳未満」が 2.1 ポイント増加したほか、「25～29 歳」「30～34 歳」「35～39 歳」がいずれも増加し、39 歳以下の合計で 5.3 ポイント増加した。

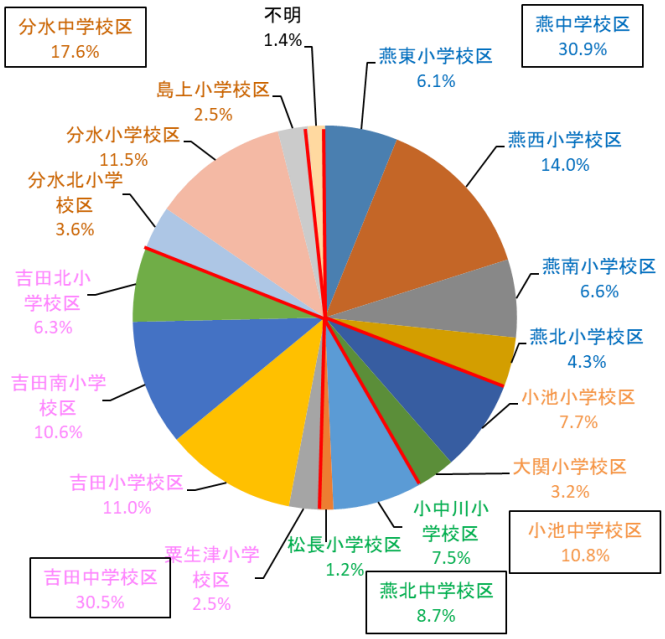


【前回の市民意識調査（令和４年 10 月）】



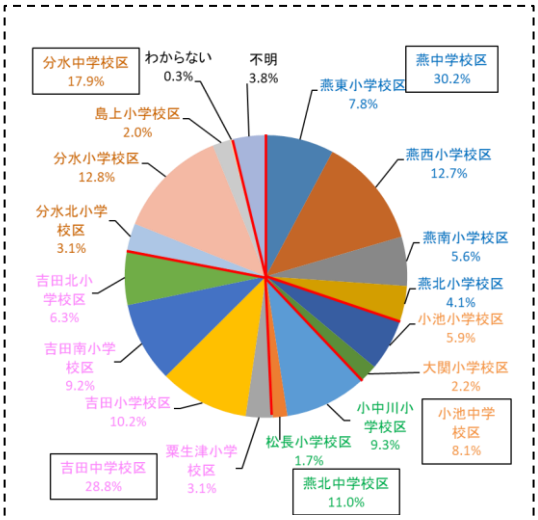
（ウ）あなたのお住まいの地区（小学校区）は

居住地域別では、「燕西小学校区」が最も多く 14.0%、次いで「分水小学校区」が 11.5%、「吉田小学校区」が 11.0%となった。前回調査との比較では、「小池小学校区」が 1.8 ポイント、「吉田南小学校区」が 1.4 ポイント増加し、「小中川小学校区」が 1.8 ポイント、「燕東小学校区」が 1.7 ポイント減少した。



N=915

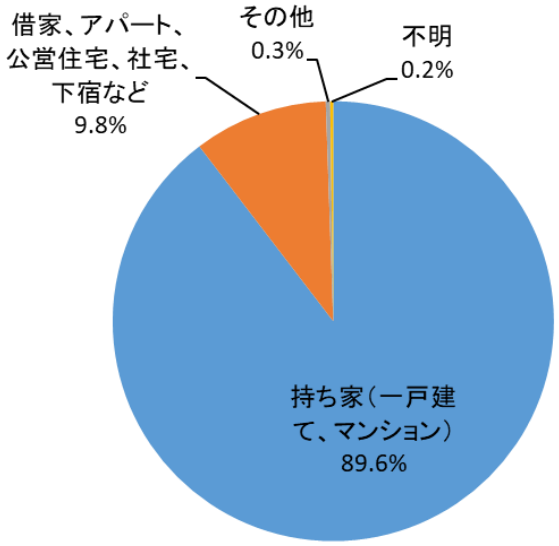
【前回の市民意識調査（令和４年 10 月）】



N=782

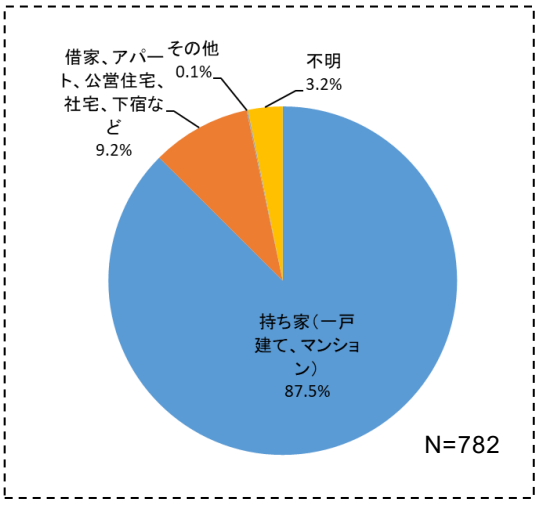
（エ）あなたのお住まいの形態は

「持ち家（一戸建て、マンション）」が 89.6%、「借家、アパート、公営住宅、社宅、下宿など」が 9.8%となった。



N=915

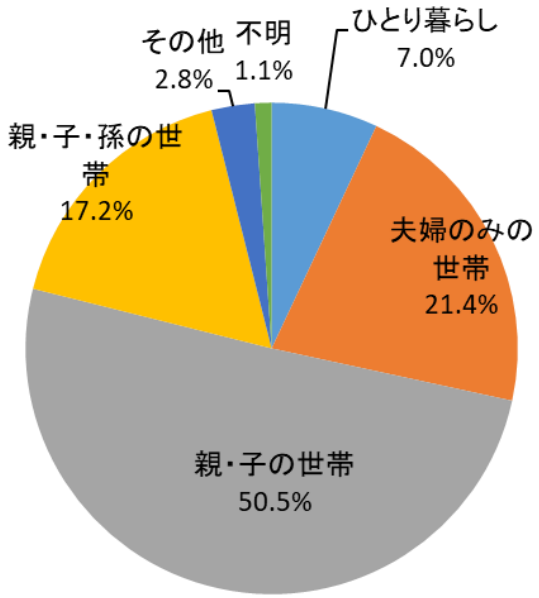
【前回の市民意識調査（令和４年 10 月）】



N=782

（オ）あなたのお住まいの家族構成は【令和５年度新規調査項目】

「親・子の世帯」が最も多く 50.5%、次いで「夫婦のみの世帯」が 21.4%、「親・子・孫の世帯」が 17.2%となった。

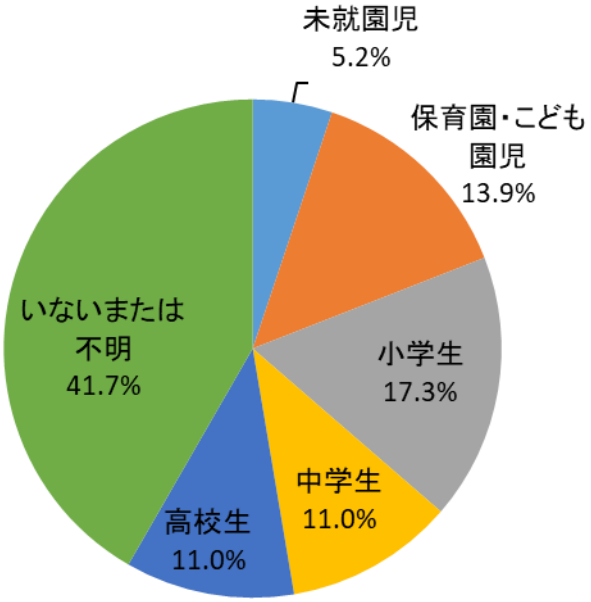


N=915

18 歳未満のお子さんがいる場合

［「親・子の世帯」または「親・子・孫の世帯」を回答した方限定］

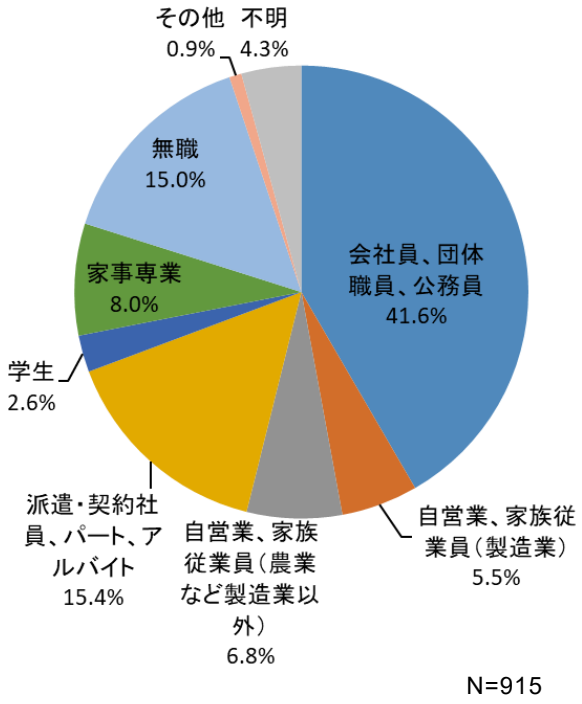
「いないまたは不明」が最も多く 41.7%、次いで「小学生」が 17.3%、「保育園・こども園児」が 13.9%となった。

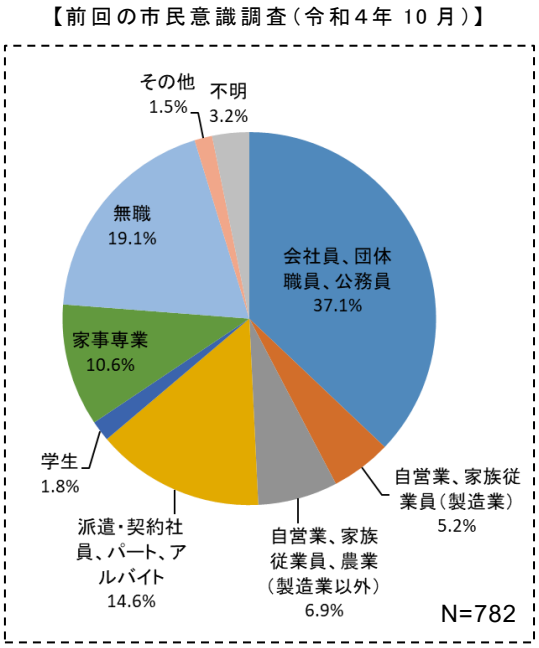


N=619

（オ）あなたのご職業は

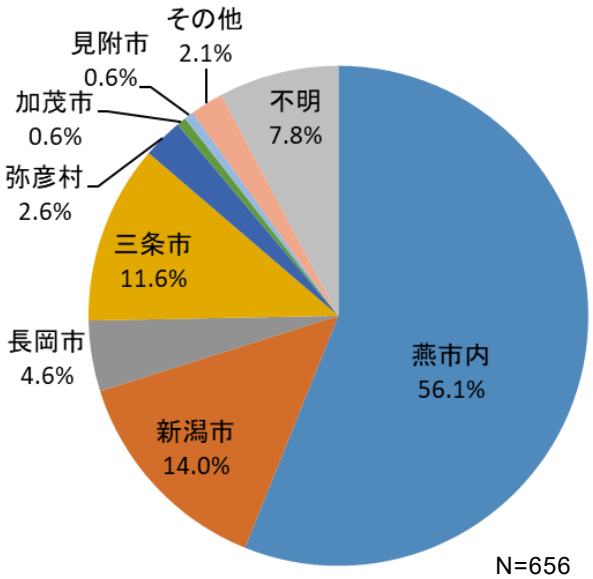
「会社員、団体職員、公務員」が最も多く 41.6%、次いで「派遣・契約社員、パート、アルバイト」が 15.4%、「無職」が 15.0%となった。前回調査との比較では、「会社員、団体職員、公務員」が 4.6 ポイント増加し、「無職」が 4.1 ポイント減少した。

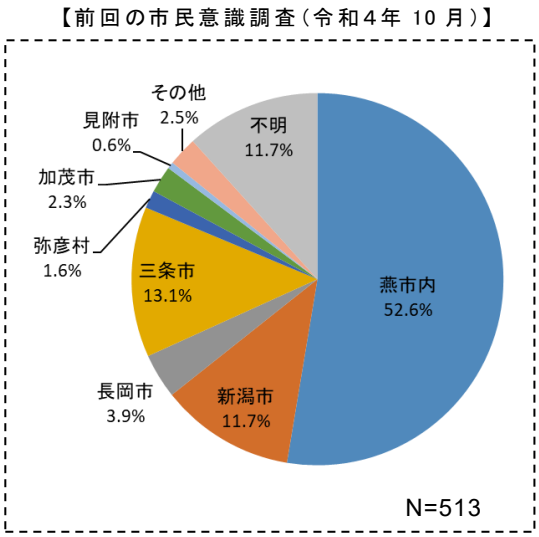




通勤・通学先は

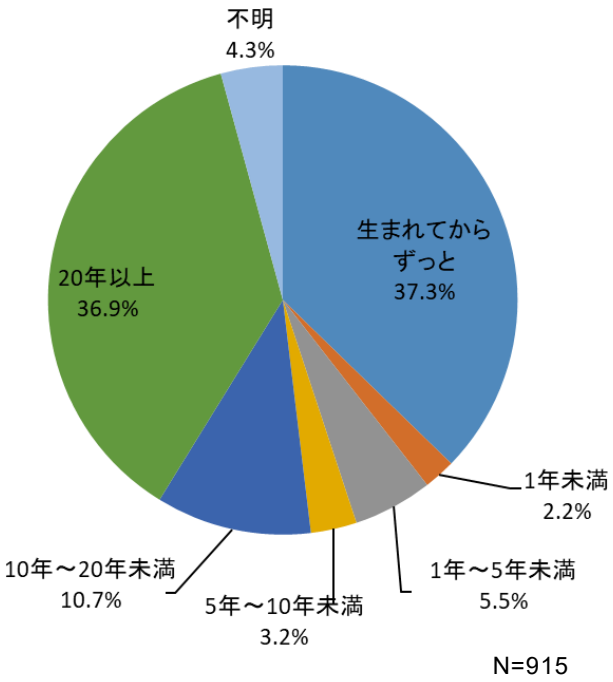
「燕市内」が最も多く 56.1%、次いで「新潟市」が 14.0%、「三条市」が 11.6%となった。

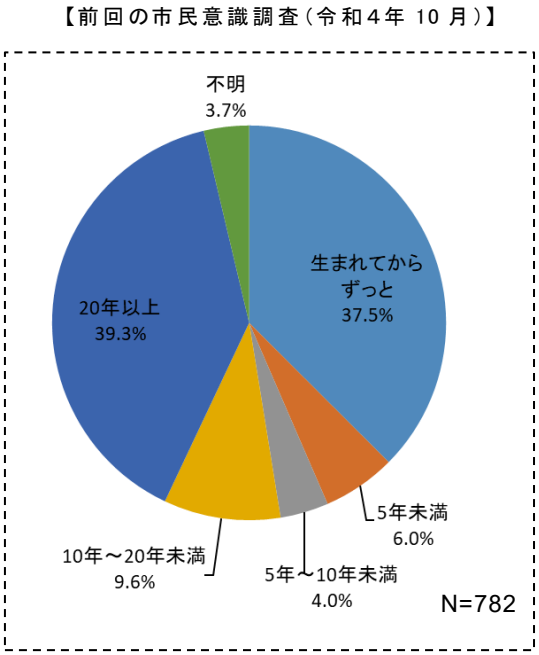




（カ）あなたが燕市に住みはじめてからの年数は

「生まれてからずっと」が最も多く 37.3%、次いで「20 年以上」が 36.9%となっており、この２つの選択肢で７割以上を占めた。また、今回調査から選択肢に「１年未満」を追加した結果、回答割合は 2.2%となった。

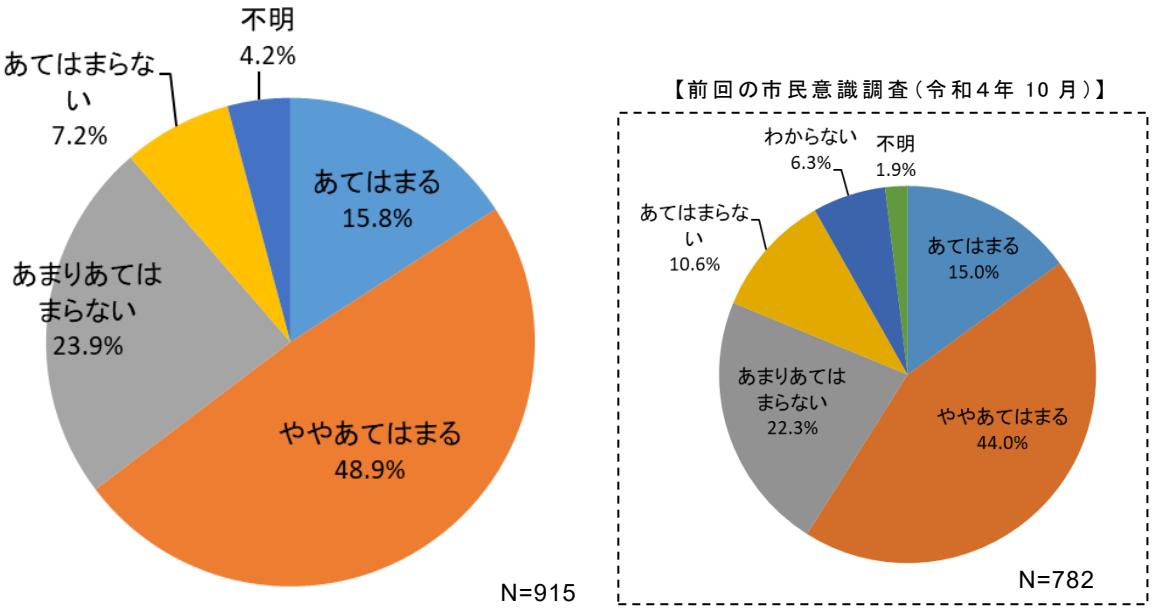




問２　将来も安心して燕市に住み続けるため、下記のことについて、あなたにあてはまるものを選んでください。

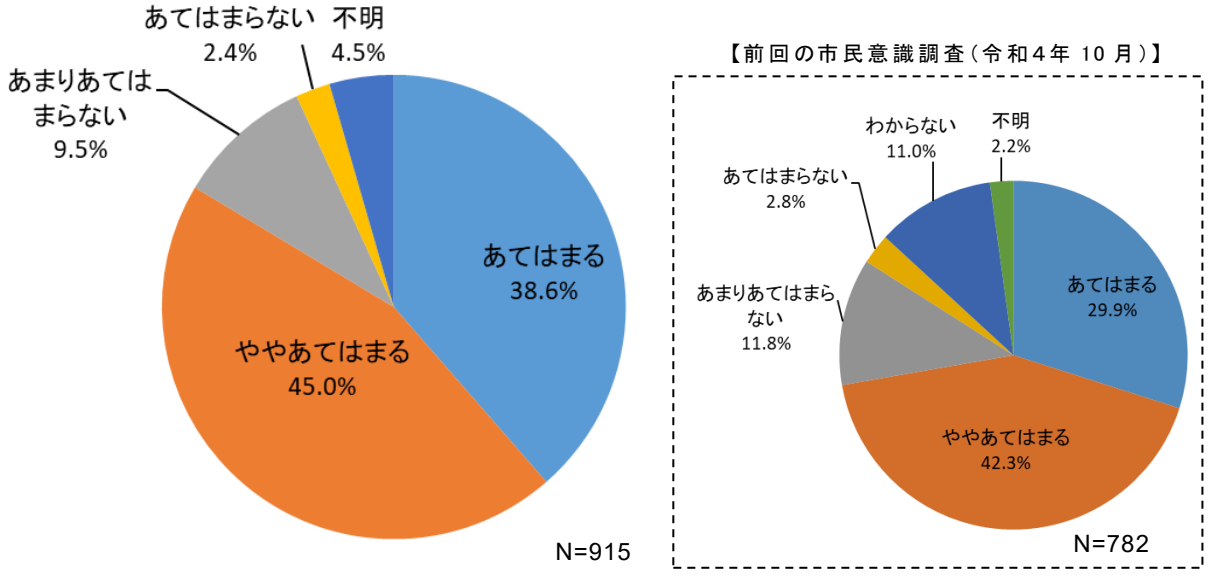
１．地球温暖化防止を意識して、省エネに取り組んでいる（こまめな消灯などの節電や、省エネ製品の購入・買い替え、太陽光発電の設置など）

「あてはまる」「ややあてはまる」の合計は 64.7％であり、前回調査と比較して 5.7 ポイント増加した。



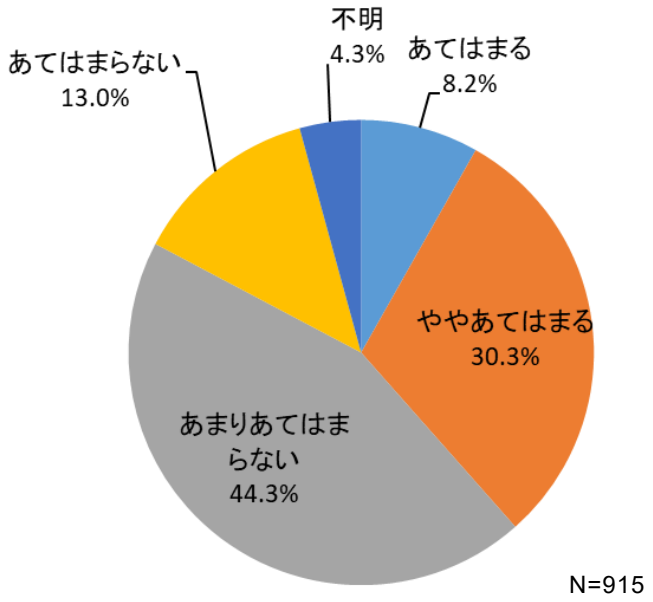
２．　性別、年齢、国籍、障がいの有無など、一人ひとりが持つ様々な違いを個性として認めている（多様性・人権の尊重）

「あてはまる」「ややあてはまる」の合計は 83.6％であり、前回調査と比較して 11.4 ポイント増加した。

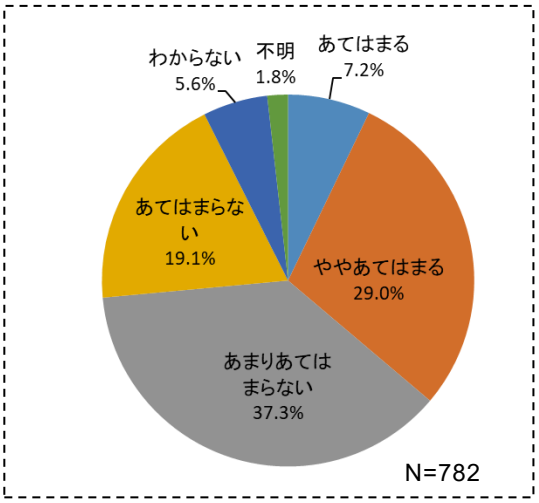


３．　自然災害に十分備えている（食料の備蓄、避難所の場所を確認、洪水ハザードマップで自宅の位置を確認、風水害におけるマイ・タイムラインの作成、災害時における家族内の連絡方法の確認など）

「あてはまる」「ややあてはまる」の合計は 38.5％であり、前回調査と比較して 2.3 ポイント増加した。一方で、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」の合計も 0.9 ポイント増加した。

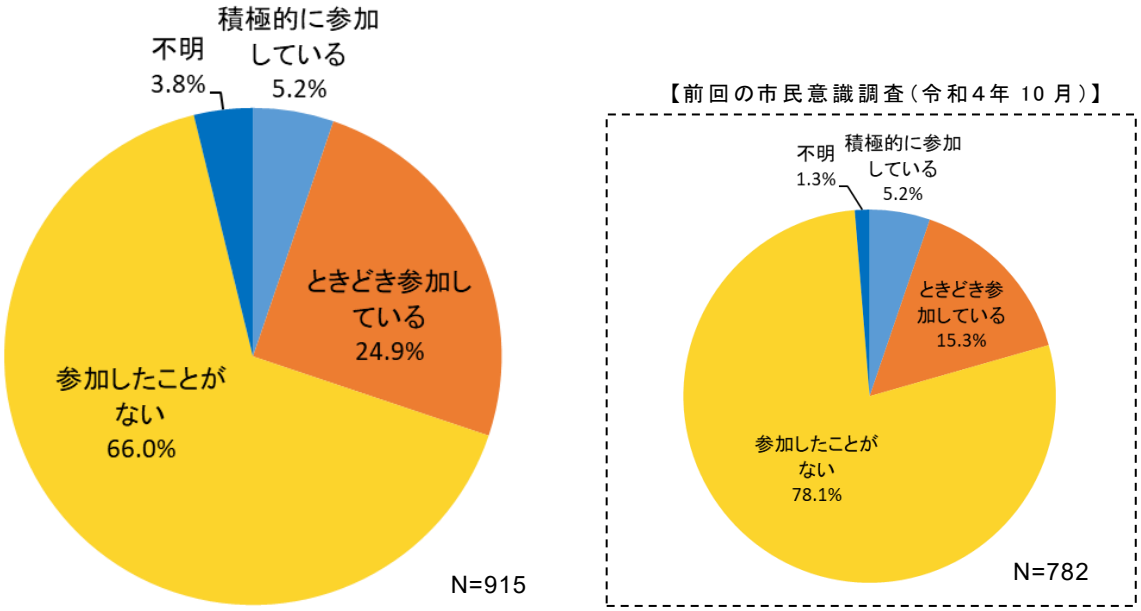


【前回の市民意識調査（令和４年 10 月）】



問３　あなたは、最近、自治会やまちづくり協議会、NPO、ボランティア組織などの活動に、どの程度参加していますか。

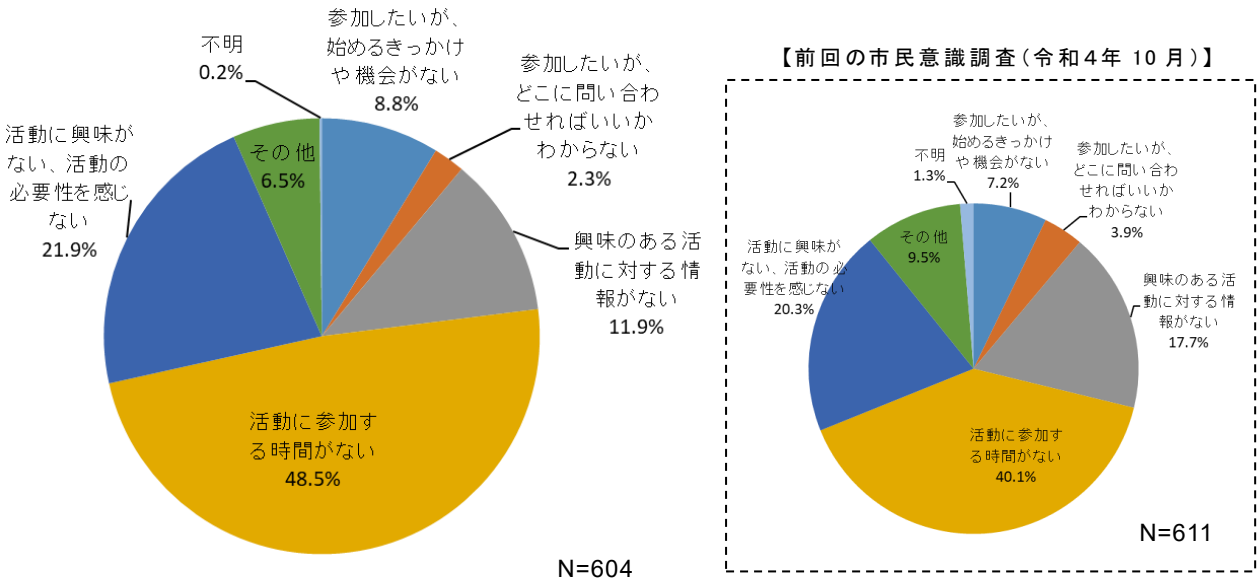
「積極的に参加している」が 5.2%、「ときどき参加している」が 24.9%、「参加したことがない」が 66.0%となった。前回調査との比較では、「ときどき参加している」が 9.6 ポイント増加し、「参加したことがない」が 12.1 ポイント減少した。



参加したことがない理由について

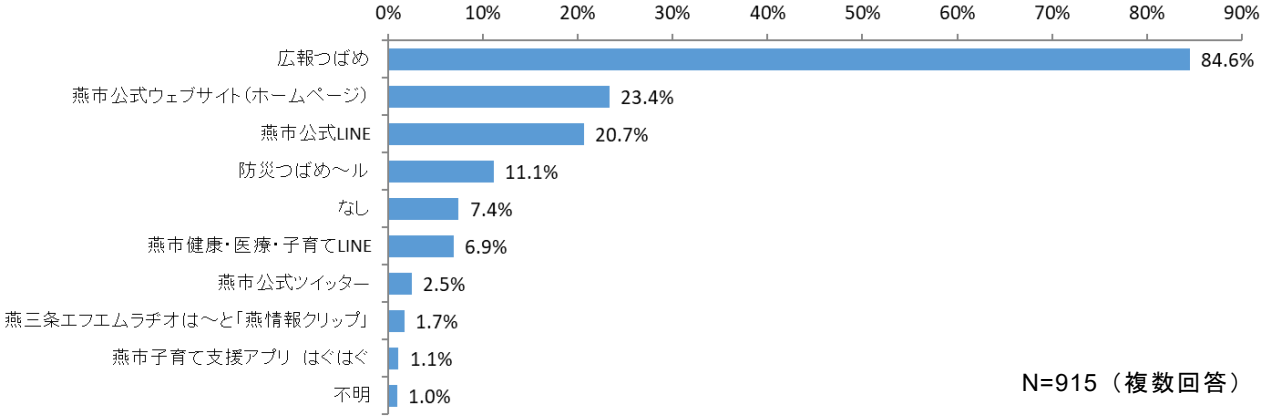
［「参加したことがない」を回答した方限定］

「参加したいが、始めるきっかけや機会がない」から「活動に参加する時間がない」までの約７割の方の潜在的な活動意欲を活かしきれていない状況となっている。



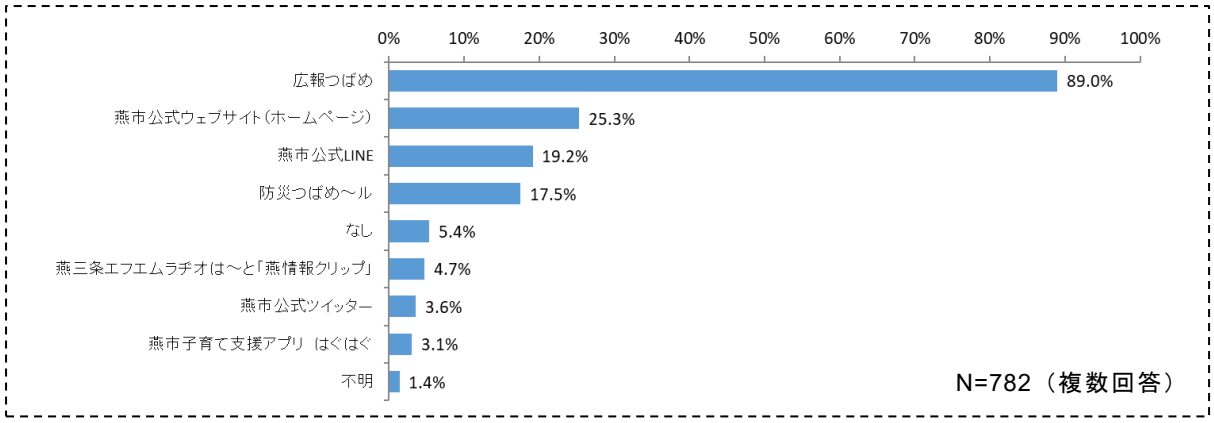
問４　あなたは、どの情報媒体を利用（読む／見る／聴く）して、燕市の情報を取得していますか。

利用している情報媒体については、「広報つばめ」が最も多く 84.6%、次いで「燕市公式ウェブサイト（ホームページ）」が 23.4%、「公式 LINE」が 20.7%となった。前回調査との比較では、「防災つばめ～ル」が 6.4 ポイント、「広報つばめ」が 4.4 ポイント減少した。また、今年度８月に稼働開始した「燕市健康・医療・子育て LINE」の利用は 6.9%となった。



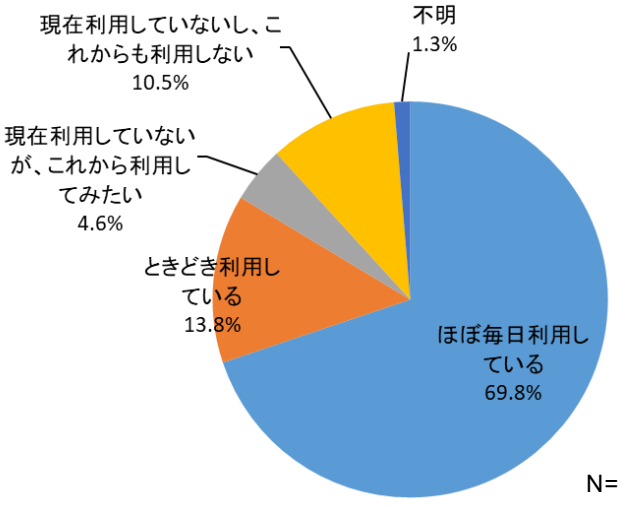
N=915（複数回答）

【前回の市民意識調査（令和４年 10 月）】



N=782（複数回答）

問５　あなたは日ごろ、スマートフォンやパソコン、タブレットなどの機器を使用してインターネットを利用していますか。【令和５年度新規調査項目】

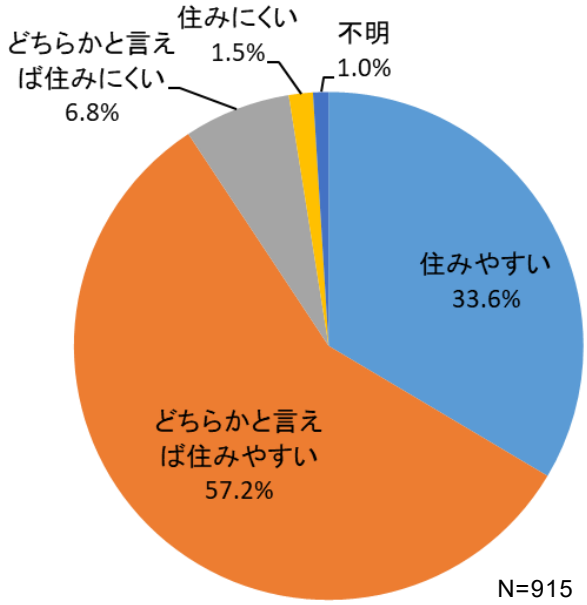


N=915

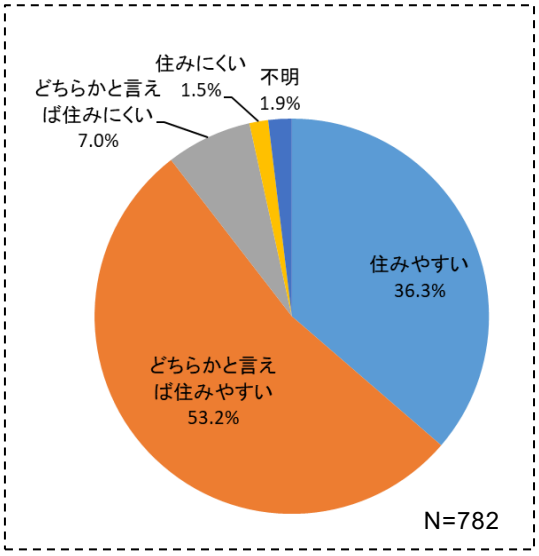
「ほぼ毎日利用している」「ときどき利用している」の合計が 83.6%であり、８割以上の方がスマートフォン等の機器を使用していると答えた。

問６　あなたにとって、燕市は住みやすいまちですか。

「住みやすい」が 33.6%、「どちらかと言えば住みやすい」が 57.2%、「どちらかと言えば住みにくい」が 6.8%、「住みにくい」が 1.5%となった。前回調査と比較して、「住みやすい」と「どちらかと言えば住みやすい」の合計が 1.2 ポイント増加した。

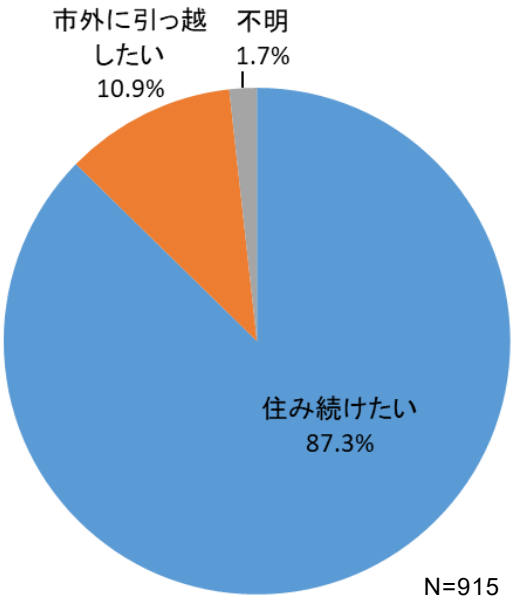


【前回の市民意識調査（令和４年 10 月）】

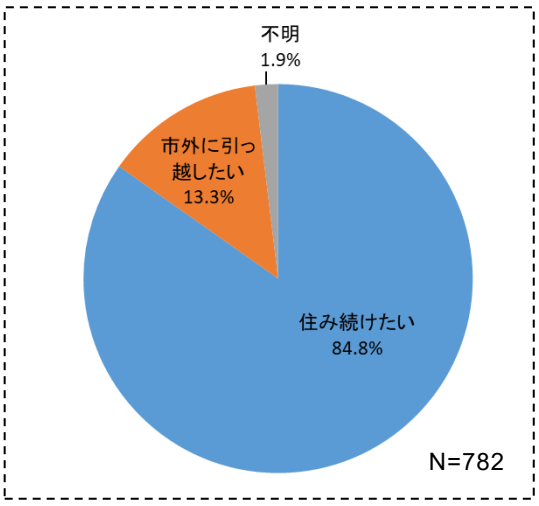


問７　あなたは、今後も燕市に住み続けたいですか。

「住み続けたい」が 87.3%、「市外に引っ越したい」が 10.9%となっており、前回調査と比較すると、「住み続けたい」が 2.5 ポイント増加した。

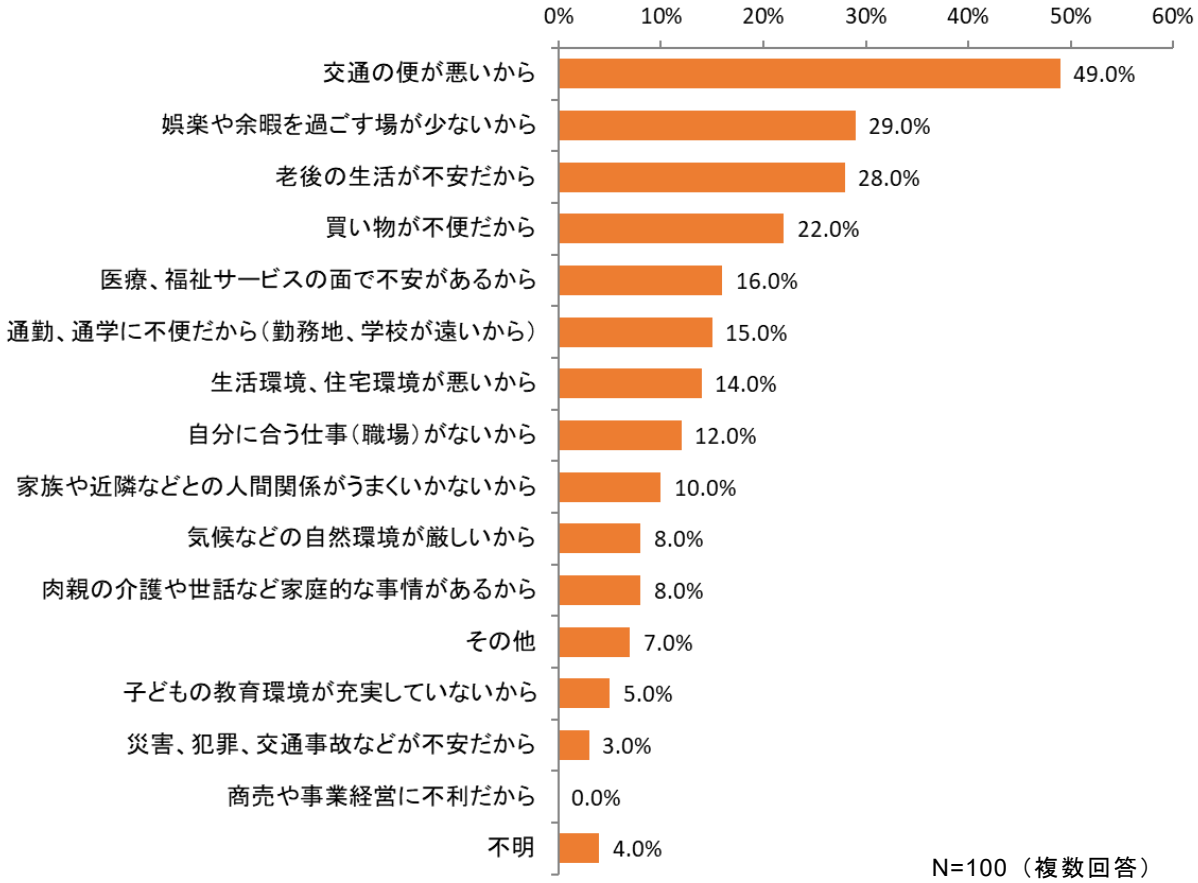


【前回の市民意識調査（令和４年 10 月）】

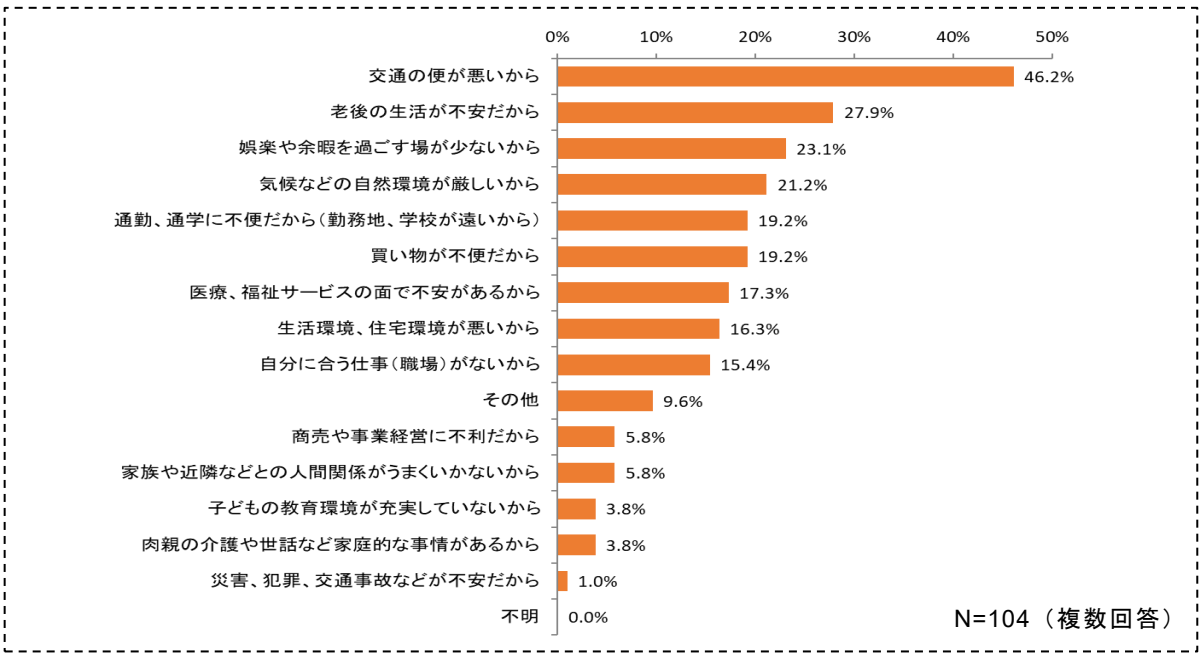


市外に引っ越したい理由

「交通の便が悪いから」が最も多く 49.0%、次いで「娯楽や余暇を過ごす場が少ないから」が 29.0%、「老後の生活が不安だから」が 28.0%となっている。前回調査との比較では、「娯楽や余暇を過ごす場が少ないから」が 5.9 ポイント増加し、「気候などの自然環境が厳しいから」が 13.2 ポイント減少した。



【前回の市民意識調査（令和４年 10 月）】

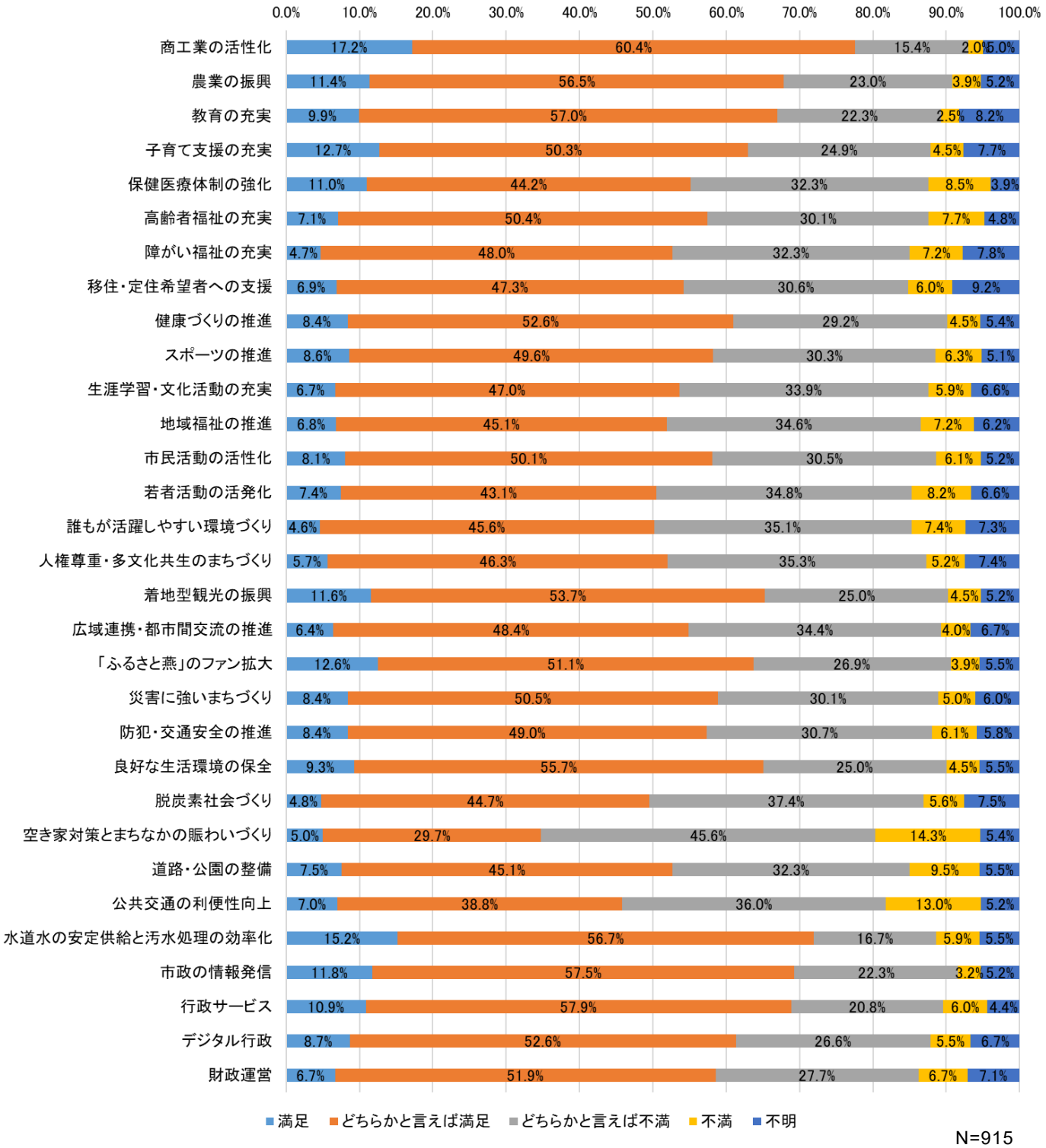


問８　燕市のまちづくりに対するあなたの満足度をおたずねします。

満足度が最も高い施策は「商工業の活性化」の 77.6%で、次いで「水道水の安定供給と汚水処理の効率化」が 71.9%、「市政の情報発信」が 69.3%となった。

一方、満足度が低い施策は「空き家対策とまちなかの賑わいづくり」(34.8%)、「公共交通の利便性向上」(45.8%) となっており、これらは他の施策と比べ「不満」の割合が高くなっている。

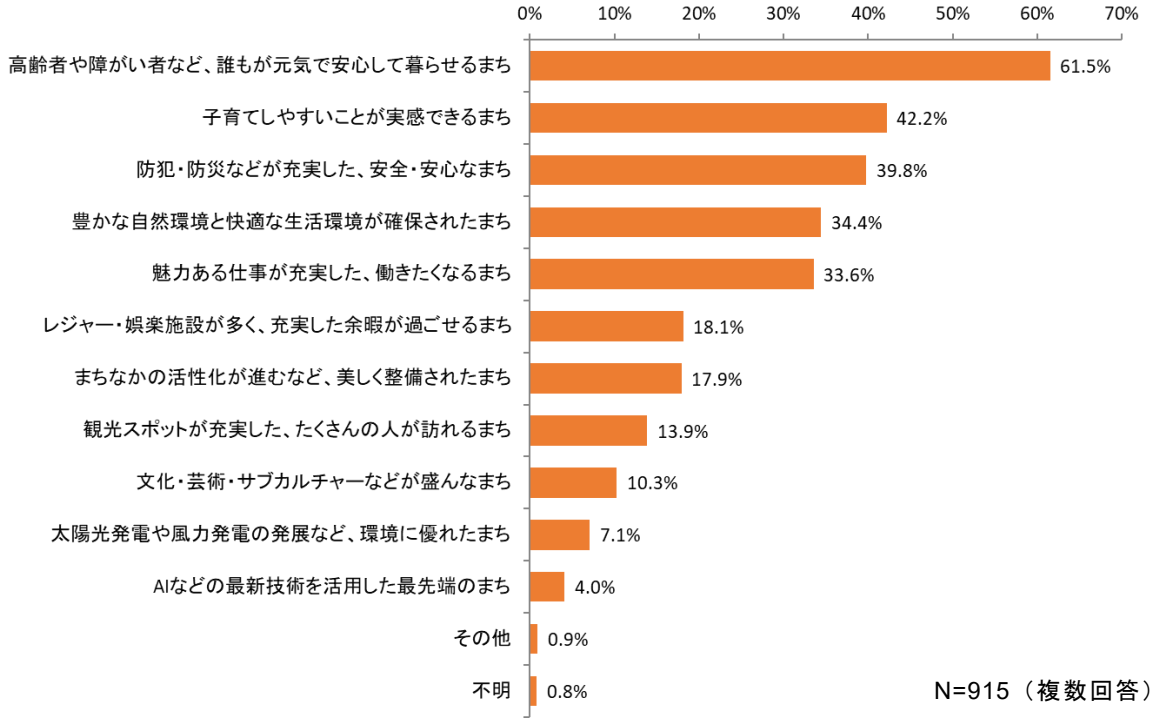
※満足度：「満足」「どちらかと言えば満足」の合計



N=915

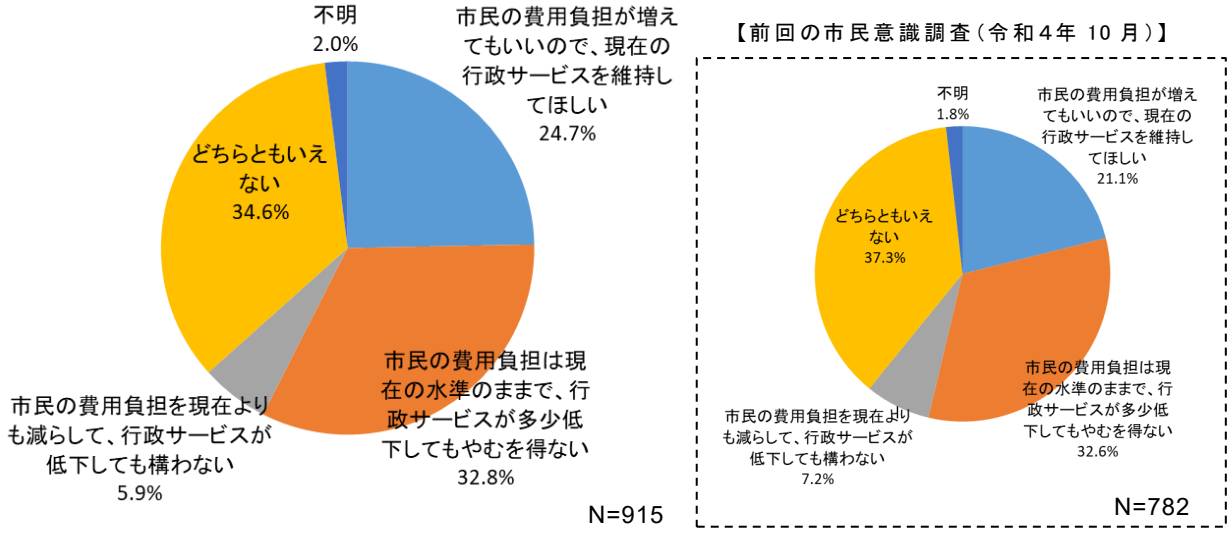
問９　あなたは、５年後、10年後の将来を想像した時、燕市にどんなまちになっていてほしいですか。**【令和５年度新規調査項目】**

「高齢者や障がい者など、誰もが元気で安心して暮らせるまち」が 61.5%と最も多く、次いで「子育てしやすいことが実感できるまち」が 42.2%、「防犯・防災などが充実した、安全・安心なまち」が 39.8%となった。



問６　今後、人口の減少などにより燕市の収入が減ると、市が行うサービスや公共施設（道路なども含む）をこれまでどおり維持していくために、市民の皆さんの費用負担が増えることも考えられます。行政サービス（市が行う仕事）と市民の皆さんの費用負担のあり方について、あなたのお考えに最も近いものはどれですか。

前回調査との比較では、「市民の費用負担を現在よりも減らして、行政サービスが低下しても構わない」が3.6ポイント増加し、「どちらともいえない」が2.7ポイント減少した。



回答所要時間：約 10 分

燕市まちづくり市民アンケート

～燕市のこれからのまちづくりのために、あなたのご意見をお聞かせください～

日ごろより市政に対しご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

燕市では、市民のみなさんが日ごろ、まちづくりや身近な生活環境などについてどのようにお考えになっているのかをお聞きし、それを市政運営の基礎資料として活用するため、毎年アンケート調査を実施しています。

この調査は、住民基本台帳から無作為に抽出した、市内にお住まいの満18歳以上の2,000名を対象としています。ご回答いただいた内容は統計的な処理を行いますので、個人情報が漏れるようなことは一切ございません。また、ご回答の内容が、回答者の不利益となるようなこともございません。

お忙しいところ恐縮ですが、調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和５年 10 月

燕 市 長　　鈴 木　 力

ご回答にあたってのお願い

必ず宛て名のご本人がご回答くださいますようお願いいたします。

また、ご回答の方法は、①「本アンケート用紙に直接ご記入」または、②「ウェブでのご入力」のどちらか一方をお選びください。

※両方に回答することはできません。

【①　本アンケート用紙に直接ご記入いただく場合】

1．　ご記入は黒のボールペンか濃い鉛筆などではっきりとお書きください。

2．　ご記入いただきましたら、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに **１１月７日（火）** までに投函してくださいますようお願いいたします。

【②　ウェブで入力いただく場合（タブレット・スマートフォン用）】

1．　右の QR コードをタブレットかスマートフォンのカメラ機能等で読み取って、回答ページを表示させてください。

2．　ご回答は、**１１月７日（火）** までにお願いいたします。

■お問い合わせ先　燕市企画財政部 企画財政課

電話：0256-77-8352／電子メール：kikaku@city.tsubame.lg.jp

燕市まちづくり市民アンケート調査票

問１　あなたご自身についておたずねします。 次の（ア）～（カ）の各項目について、あてはまる番号をそれぞれ１つ選んで○印をつけてください。

（ア）あなたがとらえている あなたの性別は	1．男　性　　2．女　性
（イ）あなたの年齢は	1．25 歳未満　　2．25～29 歳 3．30～34 歳　　4．35～39 歳 5．40～44 歳　　6．45～49 歳 7．50～54 歳　　8．55～59 歳 9．60～64 歳　　10．65～69 歳 11．70～74 歳　　12．75 歳以上
（ウ）あなたのお住まいの地区 （小学校区）は	1．燕東小学校区　　2．燕西小学校区 3．燕南小学校区　　4．燕北小学校区 5．小池小学校区　　6．大関小学校区 7．小中川小学校区　　8．松長小学校区 9．粟生津小学校区　　10．吉田小学校区 11．吉田南小学校区　　12．吉田北小学校区 13．分水北小学校区　　14．分水小学校区 15．島上小学校区 ※ 小学校区がわからない場合は、自治会（町内）名を記入してください　（　　）
（エ）あなたのお住まいの形態は ※ご家族様名義の持ち家の場合は、「１．持ち家」に○印をつけてください。	1．持ち家（一戸建て、マンション） 2．借家、アパート、公営住宅、社宅、下宿など 3．その他（　　）
（オ）あなたのお住まいの家族 構成・人数は 「３．親・子の世帯」または「４．親・子・孫の世帯」を選んだ方で、18 歳未満のご家族がいる場合、あてはまる年代をすべて選んで○印をつけてください。	1．ひとり暮らし　　2．夫婦のみの世帯 3．親・子の世帯　　4．親・子・孫の世帯 5．その他（　　） ご家族全員（ご自身含む）の人数（　　人） **※18 歳未満のお子さんがいる場合** 1．未就園児　　2．保育園・こども園児 3．小学生　　4．中学生 5．高校生 18 歳未満のお子さんの人数（　　人）

（カ）あなたのご職業は 「１．会社員、団体職員、公務員」～「５．学生」を選んだ方は、通勤・通学先についてもあてはまる番号を１つ選んで○印をつけてください。	１．会社員、団体職員、公務員 ２．自営業・家族従業員（製造業） ３．自営業・家族従業員（農業など製造業以外） ４．派遣・契約社員、パート、アルバイト ５．学生 ６．家事専業 ７．無職 ８．その他（　　） ※　通勤・通学先は １．燕市内　　５．弥彦村 ２．新潟市　　６．加茂市 ３．長岡市　　７．見附市 ４．三条市　　８．その他（　　）
（キ）あなたが燕市に住みはじめてからの年数は	１．生まれてからずっと ２．１年未満 ３．１年～５年未満 ４．５年～１０年未満 ５．１０年～２０年未満 ６．２０年以上

次のページからは、あなたの日常生活についてお伺いしていきます

問２　将来も安心して燕市に住み続けるため、以下のことについて、<u>あなたにあてはまるものを１つずつ選んで○印</u>をつけてください。

質　問　項　目	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
	どれかひとつに○			
１．地球温暖化防止を意識して、省エネに取り組んでいる（こまめな消灯などの節電や、省エネ製品の購入・買い替え、太陽光発電の設置など）	１	２	３	４
２．性別、年齢、国籍、障がいの有無など、一人ひとりが持つ様々な違いを個性として認めている（多様性・人権の尊重）	１	２	３	４
３．自然災害に十分備えている（食料の備蓄、避難所の場所を確認、洪水ハザードマップで自宅の位置を確認、風水害におけるマイ・タイムラインの作成、災害時における家族内の連絡方法の確認など）	１	２	３	４

問３　あなたは最近、自治会やまちづくり協議会、NPO、ボランティア組織などの活動にどの程度参加していますか。あてはまる番号を１つ選んで○印をつけてください。

１．積極的に参加している
２．ときどき参加している
３．参加していない

↓

※「３．参加していない」理由（最もあてはまるものを１つ）

１．参加したいが、始めるきっかけや機会がない
２．参加したいが、どこに問い合わせればいいのかわからない
３．興味のある活動に対する情報がない
４．活動に参加する時間がない
５．活動に興味がない、活動の必要性を感じない
６．その他（　　）

問 4　あなたは、どの情報媒体を利用（読む／見る／聴く）して、燕市の情報を取得していますか。利用している番号すべてに○印をつけてください。

1．広報つばめ
2．燕市公式ホームページ
3．燕市公式 LINE
4．燕市健康・医療・子育て LINE
5．燕市公式 X（旧ツイッター）
6．防災つばめ～ル
7．燕市子育て支援アプリ はぐはぐ
8．燕三条エフエムラヂオは～と「燕情報クリップ」
9．なし

問 5　あなたは日ごろ、スマートフォンやパソコン、タブレットなどの機器を使用してインターネットを利用していますか。あてはまる番号を１つ選んで○印をつけてください。

1．ほぼ毎日利用している
2．ときどき利用している
3．現在利用していないが、これから利用してみたい
4．現在利用していないし、これからも利用しない

※ 燕市のデジタル化の推進に関してご意見、ご提案などがありましたら、ご自由にお書きください。

（　　）

次のページからは、燕市のまちづくりについてお伺いしていきます

問 6　あなたにとって、燕市は住みやすいまちですか。あてはまる番号を１つ選んで○印をつけてください。

１．住みやすい
２．どちらかと言えば住みやすい
３．どちらかと言えば住みにくい
４．住みにくい

問 7　あなたは、今後も燕市に住み続けたいですか。あてはまる番号を１つ選んで○印をつけてください。また、「２．市外に引っ越したい」を選んだ方は、その理由についてあなたのお考えに最も近いものを３つまで選び、番号に○印をつけてください。

１．住み続けたい
２．市外に引っ越したい

↓

※「２．市外に引っ越したい」理由（主な理由３つまで○印）

１．自分に合う仕事（職場）がないから
２．商売や事業経営に不利だから
３．通勤、通学に不便だから（勤務地、学校が遠いから）
４．子どもの教育環境が充実していないから
５．交通の便が悪いから
６．買い物が不便だから
７．生活環境、住宅環境が悪いから
８．医療体制、福祉サービスの面で不安があるから
９．老後の生活が不安だから
10．娯楽や余暇を過ごす場が少ないから
11．気候などの自然環境が厳しいから
12．災害、犯罪、交通事故などが不安だから
13．肉親の介護や世話など家庭的な事情があるから
14．家族や近隣などとの人間関係がうまくいかないから
15．その他（　　）

問８　燕市のまちづくりに対する、あなたの満足度をおたずねします。

次の１～31 の項目について、<u>あなたの生活の状況や暮らしの実感に最も近いものをそれぞれ１つずつ選んで○印</u>をつけてください。

	質　問　項　目	現在の満足度			
		満足	どちらかと言えば満足	どちらかと言えば不満	不満
		どれかひとつに○			
定住人口戦略	１ ものづくり産業の生産性向上や販路開拓などにより商工業に活力がある	1	2	3	4
	２ 農地の集積や燕市産農産物の流通・販売などにより農業に活力がある	1	2	3	4
	３ 燕らしい特色ある教育プログラムなど、小中学校の教育が充実している	1	2	3	4
	４ 妊娠・出産・子育てがしやすいよう、子育て支援が充実している	1	2	3	4
	５ 病気になったときに安心して医療を受けられる体制が整っている	1	2	3	4
	６ 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるための支援が充実している	1	2	3	4
	７ 障がいのある人が暮らしやすいよう、支援が充実している	1	2	3	4
	８ 移住しやすく、移住後も住み続けられるような支援制度が充実している	1	2	3	4
活動人口戦略	９ 市民一人ひとりが、自分にあった健康づくりに取り組みやすい体制や環境が整っている	1	2	3	4
	10 誰もがスポーツに親しめる体制や環境が整っている	1	2	3	4
	11 生涯学習や芸術文化活動に取り組みやすい体制や環境が整っている	1	2	3	4
	12 地域で支えあいながら暮らせるまちづくりが進められている	1	2	3	4
	13 自治会をはじめとした地域コミュニティや市民団体などの活動が活発に行われている	1	2	3	4
	14 若者による、まちづくりや地域活性化に向けた活動が活発に行われている	1	2	3	4
	15 性別等に関わらず、誰もが活躍しやすいまちづくりや職場環境づくりが進められている	1	2	3	4
	16 人権尊重と多文化共生に向けた取組が進められている	1	2	3	4

	質　問　項　目	現在の満足度			
		満足	どちらかと言えば満足	どちらかと言えば不満	不満
		どれかひとつに○			
人口戦略 交流・応援（燕）	17 自然環境やものづくり産業などの地域の魅力を活かした観光が盛んである	1	2	3	4
	18 周辺市町村や交流のある県外市町村との連携・交流が進められている	1	2	3	4
	19 燕市のイメージアップやファン拡大に向けて市の魅力が市内外に発信されている	1	2	3	4
人口戦略を支える都市基盤の整備	20 防災対策や地域防災活動など災害に備えたまちづくりが進められている	1	2	3	4
	21 安心して暮らせるよう防犯対策や交通安全対策が進められている	1	2	3	4
	22 ごみの減量・再資源化や公害防止など良好な生活環境の保全が進められている	1	2	3	4
	23 省エネ活動の推進や再生可能エネルギーの活用に向けた取組が進められている	1	2	3	4
	24 空き家・空き地の活用促進と市街地のにぎわいづくりに向けた取組が進められている	1	2	3	4
	25 道路や橋、公園の整備・維持管理が適切に行われている	1	2	3	4
	26 市内循環バスやデマンド交通の運行など公共交通の利便性向上が進められている	1	2	3	4
	27 上水道の安定した供給と下水道などの汚水処理が適切に行われている	1	2	3	4
行財政運営	28 市の取組や各種支援制度、イベント情報など、市政情報が発信されている	1	2	3	4
	29 窓口対応や市民の利便性向上につながる取組など行政サービスが充実している	1	2	3	4
	30 オンライン申請やキャッシュレス決済など、行政サービスのデジタル化が進んでいる	1	2	3	4
	31 行財政改革や財政健全化の取組などにより適切な財政運営が行われている	1	2	3	4

問 9　あなたは、５年後、１０年後の将来を想像した時、燕市にどんなまちになっていてほしいですか。<u>あなたのお考えに最も近いものを３つまで選んで○印</u>をつけてください。

1．魅力ある仕事が充実した、働きたくなるまち
2．子育てしやすいことが実感できるまち
3．高齢者や障がい者など、誰もが元気で安心して暮らせるまち
4．文化・芸術・サブカルチャーなどが盛んなまち
5．観光スポットが充実した、たくさんの人が訪れるまち
6．豊かな自然環境と快適な生活環境が確保されたまち
7．防犯・防災などが充実した、安全・安心なまち
8．まちなかの活性化が進むなど、美しく整備されたまち
9．レジャー・娯楽施設が多く、充実した余暇が過ごせるまち
10．AI などの最新技術を活用した最先端のまち
11．太陽光発電や風力発電の発展など、環境に優れたまち
12．その他（　　）

問 10　今後、人口の減少などにより燕市の収入が減ると、市が行うサービスや公共施設（道路なども含む）をこれまでどおり維持していくために、市民の皆さんの費用負担が増えることも考えられます。行政サービス（市が行う仕事）と市民の皆さんの費用負担のあり方について、<u>あなたのお考えに最も近いものを１つ選んで○印</u>をつけてください。

1．市民の費用負担が増えてもいいので、現在の行政サービスを維持してほしい
2．市民の費用負担は現在の水準のままで、行政サービスが多少低下してもやむを得ない
3．市民の費用負担を現在よりも減らして、行政サービスが低下しても構わない
4．どちらともいえない

問 11　今後の燕市のまちづくりに関するご意見、ご提案などがありましたら、ご自由にお書きください。

（　　）

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

この用紙を同封の返信用封筒に入れて、11 月７日（火）まで に投函してください。